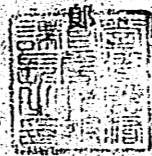


供覽 丙

情第一三二八號

昭和十八年八月四日

臺灣總督官房情報課長 小澤 太



管理局長

監理課長

事務官

管理局長殿

「新建設」送付ノ件

民奉公會發行ニ係ル「新建設」八月號（一部）迄

参考及送付候也

18.8.16
皇
民奉公會管理局

元

第七十一年五月三日 第三號 郵便物認可 昭和十八年八月一日 創刊 每星期一 第二卷第八號

新建設



精神力は武力に勝る

「臺灣の真面目を見直せ」

8

皇民奉公會

15

新建設 創刊 15

REEL No. A-0510

0105

アジア歴史資料センター



健康な村民を訪ねて

高橋 實・藤 安 弘

今こそ國家の雄力を擧げて戦争遂行の
一助に待望すべき決戦の秋である。國家
の強弱の根本は、國民の地位の増
進に依つて多量に一人一人の地位の
如何に直進國家の威力にひびく、先づ何
れにしても強い身體を作ることが大切
である。

高橋州鳳山郡港千部部落は、健民思想
の普及と衛生施設の完備により、かつて
の暗い生活を清算した健民部落である。
僅か四年足らずの間に、村を一新して、
今日の明るい部落を建設するまでに、
部落民から無量の如くしたはれたる健
民の探非調査の私費を投じての献身的
な努力はもとより、村民自身の勞苦もま
た決して並大抵なものではなかつた。村
民の共同奉仕により、先づ「リア」校の
健康地となつてゐた竹笠が取はられ、
た。立派な道路も通じ、又排水溝も設け
られた。家々には明り取りの窓が取付け
られ、正座の姿勢も改善された。更に
積極的に地位の向上をめざして、本體
換その他が行はれることになつた。
村民の心をゆたかにしたばかりではな
く、これまでもとくく運れがちな村は、
納税も、一月として滞納する者がなくな
つた。

港千部部落では、のちに勝つて、村民の
地位はたゞましく、青年の心は明るく、
一層健康は、増進の共同増進に出掛け、女
子も健康な體を築いた。

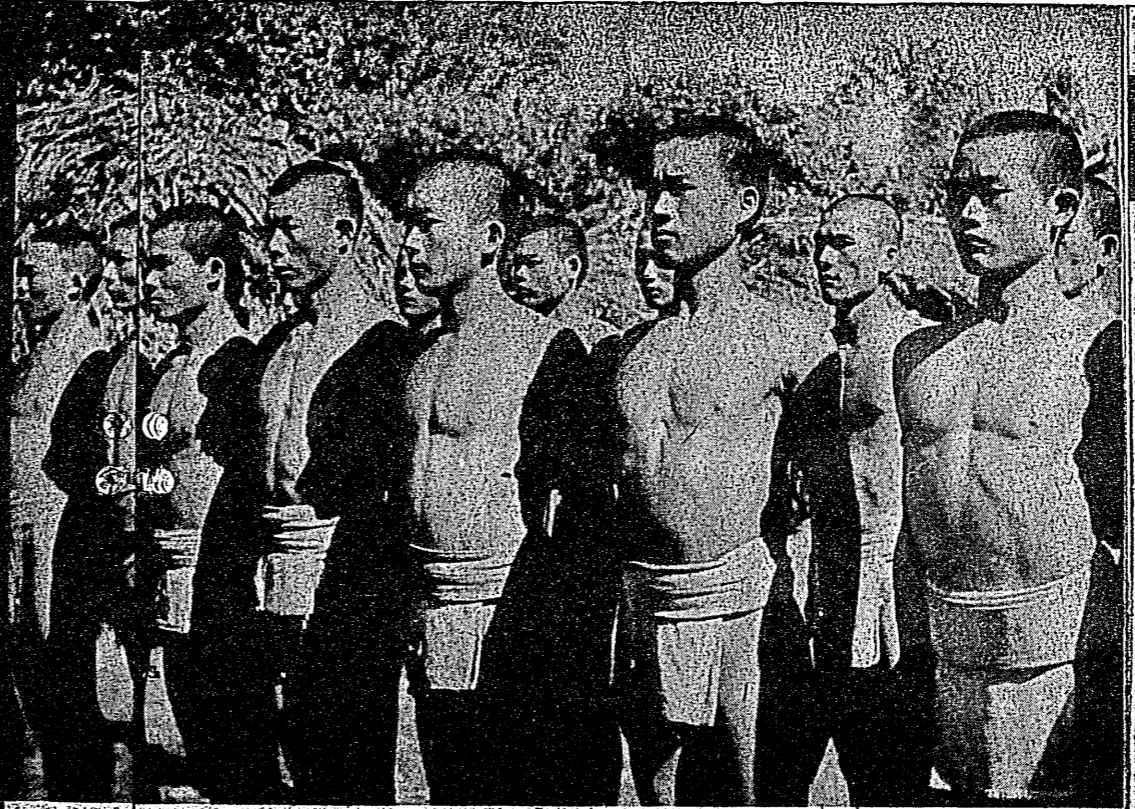
滅私敢闘決議

現在の大東亞戦争は所謂長い物に捲かれるか、或
は然らずして銳利なる及は遂に長い物を寸断し
去るかの岐路にある痛烈なる不斷の大格闘であ
つて一分一秒の油断を容さぬ。吾等は本日の中
央參與奉公委員會に臨み、愈々決戦増産並に決戦生
活實踐の急務なるを痛感し、益々私を滅して公に
奉ずるの決意を新にした。依て茲に滅私敢闘の
決意を披瀝し以て決議とする。

昭和十八年七月十二日

皇民奉公會中央參與奉公委員會

② てね訪を材民健



農てしと品質はに自大、るれは行が會換相てつよに年壯青の村回二月・上
員隊公奉勤勞はひるあ、を兵勵志のか人幾らか中の尊後、るれさ與授が具
るみてつ送へ方南を



右下・部落の本通り、雨前には村民の勤勞率仕によつて
成した排水溝がある。
左上・各部落間の連絡には女子青年隊員が當る。緊急通達
亦項等も彼女たちによつて傳へられる。銀輪も軽く彼女た
ちが運んで行く。
左下・毎朝五時には部落毎に集會所前の廣場に集會、元氣
なるは操になり、部落員全員によつてラジオ体操が行は
れる。お巡りさんや青年團長も、老人も子供も、そして婦





「大東亞一族」

「大東亞一族」の掛聲が、先ごろ南方訪問の途、ジャカルタの感謝大會で、東條首相の口から初めて原住民に直接呼びかけられた。東條首相の發言によつて、大東亞の諸民族を一大家族とする構想は、現下大東亞の諸情勢上當然にあり得る通念であり、大東亞共榮圏の建前からも、自然に出て来る考へ方である。

力と一致團結を示唆する新しい考へであり、道義に立脚する日本帝國の、み民我といふ強靱なる民族團結力に基礎をもつ意欲である。この「臺灣一家」といふ實踐垂範的存在から「大東亞一族」への形大なる構想にまで生々化育して行くであらうことは、我等の心より念願するところであり、又この考慮の下においてのみ大東亞共榮圏の建設も、首尾一貫を期し得ると思ふのである。



健民村を訪ねて ③

上・毎朝ラジヲ聴講の終つた後には、各月二名づつ出席して、部室内の清掃作業が行はれる。左・通風と採光のため、新たに設けられた人家の窓。左下・正座もかゝりて改善された、室内は著るしく明るくなつた。右・清掃された農家の庭。風つ着らぬない、この部落には、豚や鶏の放飼を行はない。以上は合はされてゐる。



新建設 目次 (八月號)

- 巻頭語(大東亞一族)……………一
- 皇座全體會議を終る……………二
- 皇座役員の再檢討……………三
- 手記 南十字星の下に……………四
- 今月の話題(會風と臨時服)……………五
- 本島初の海軍 野田 康男……………六
- 將校 行はれる規則 植松 正……………七
- 時局解説……………八
- 臺灣維新への道……………九
- 乳児の死亡率はなぜ高い……………一〇
- 青年の體格……………一一
- 青年の體格……………一二
- 巷の經濟學……………一三
- 大久保金藏……………一四
- 本島青年と水泳……………一五
- 政綱……………一六
- 新建設回覽……………一七
- 小説 青年の門 立石鐵巨……………一八
- 戦争保險とは……………一九
- 表紙……………二〇
- 宣傳美術奉公團……………二一



臺灣見直せ

座談會

支那事變以後の臺灣は本質的に變つて來てゐる

〔司會者〕 それでは「臺灣を見直せ」と云ふ座談會を始めたいと思ひます。事變前の臺灣と今の臺灣とは本質的に變つたものになつて居る。内地人、本島人、

高砂族、めい／＼の立場から、この際篇と今の臺灣と云ふものを見直さなければならぬと思ひます。奉公運動にしても、臺灣一家にして、その認識がはつきりしないと、現實臺灣の眞相といふものが掴めないと思ふのであります。「臺灣を見直せ」と云ふ命題は、今の臺灣自體に取つて可能な大きな問題であらうかと考へます。一つ率直なお考へを伺ひたいと思ひます。〔清水氏〕 今大澤さんからお話がありました通りですが、「臺灣を見直せ」と云ふ事は結局過去の臺灣をどう

見て居つたか、支那事變が始つてから、或は大東亞戦争が始つてから、もう一つは皇民奉公會が臺灣に發足してから、といふ風に固切つて考へて見ないと現在の臺灣を見直す事にならないと思ひますね。過去の臺灣はどうか云ふ風に見られて居つたかお申しますと、率直に言へば、内地に於て蓬萊米を喰へる、或は砂糖を感謝する、柑橘類に親しむと云ふ位の状況でありまして、例へば内地の人々がどの位臺灣を認識して居るかお申しますと、實際非常に認識がなかつたのですね。



大澤 氏

志願兵制度が出来るといふ具合で、事實臺灣はトントン拍子であります。殊に大東亞戦争になつてからは、舞臺も非常に廣くなり、本島青年はマライやフィリピン、ジャワ、ボルネオ、或はニューギニア方面にまで出かけてゐる。斯ういふ具合で、全般的に臺灣が變つて來た、客觀情勢と云ふ

砂族も臺灣を此際互によく見直して貰はなければいかんと思ひます。之は皇國民として臺灣を見直す云ふ事であり、さう云ふお互ひの立場からよく臺灣を再検討して、さうして誤つた悪い所は是正し、本當にしつかりした「臺灣一家」を作り上げる事が眼目だと思ひますね。黄さんはお役人の立場としてどう云ふ御意見ですか。

官吏として見た青年層の概

〔黄氏〕 最近の一般的情勢は今おつしやつた如く、本島人特に青年層に於て高まつて來た事は五十年の統治、教育の賜でせうね。支那事變が始まつて以來殊に大東亞戦争が勃發致しまして、之が非常に昂揚されたと思ふ事があります。色んな事があると思ひます。第一に皇軍の赫々たる戦果

- を見まして、非常に世界に誇れるべき國に生まれたのだと、之を幸福に思ひ又その誇りから皇民意識が高まつて來たのだと致します。餘りに本島人の思想を
- 運命を共にする所謂我々の感激から、我々は運命共同體の一員であると思ふ意識が先に立つて居ります。志願兵を志願したり、或は軍夫を志願したり、又
- 總督府總務局地方課長 清水七郎氏
臺北州商工水産課長 黄介 壽氏
臺北第三高等女學校校長 藤谷芳太郎氏
大和興業株式會社社長 幸 振 甫氏
歸 還 看 護 助 手 米 島 幸 枝 氏
司 會 (皇民奉公會 中央本部) 大澤宣傳部長
七月十日(土曜) 午後一時半
於 皇民奉公會中央本部

ない、少し話が大袈裟になりますが、少くとも自分が出なければ夫れだけ力が減るのだ、不足するのだと云ふ積極的な非常に深刻な考へ方から出て居るのだらうと思ふのであります。之は、我仕事をする上に若い人と應答したり、或はその内面的な事情をそれとなしに探る場合にはつきり現はれて居るのです。單なる身振りや或は群衆心理と云ふ様なものでなくて、眞剣に自分が進んで出ると云ふ氣持が大いに働いて居ると思ふのです。例へば、軍關係の仕事などをする場合にもそれが表面に現はれて來まして、さう云ふものが單なる附随的な發露であると思ふ事や充分に見受けられるのであります。さう云ふ事を考へまして、之は寧ろ教育の力に依り内側から燃え上つた所の發露であると思ひますね。



氏 廣

〔清水氏〕 さう云ふ青年の自覚と云ふ事もありすが、矢張り皇民奉公運動が發足してから、何と言ひましか、今迄はどつちかと云ふと若い者は老人層から非常に壓迫を受けて居つたと云ふ譯でもありませんが、若い者がやり度いと思つてもその機縁が無かつた。處が皇民奉公運動に依り働く境地を見出した、此の運動に飛込んで大いに實力を示さうとした事もあり、年寄連中が相當に若い者を見直して来た事もありますね。

例へば、奉公會の下部組織の研究會に参りまして、高雄市長興庄の若い庄長に逢ひましたが、あの人も二十八の年から庄長をして居るんですが、非常に偉れ



氏 水 清

た人で、仲々うまうまを纏めまして當會等も實によくやつて居ります。さうして、此處では年寄の連中が若いものに全部を委して居ります。世話役以下全部若い人許りです。あゝ云ふものも奉公運動が展開されてから非常に進歩して来た一種の良例でありまして、非常に良かったものですから表

父母喜ぶ、行け、御國の爲に

〔記者〕 青年が義務奉公團員とか、看護助手とかに志願するあるは既述に於いて眞の皇民としての道に生きる、爲には、どうしても鍊成を受けて日本の女性格を一日も早く身につけよう、そのためには自分を苦しめても、早く何とかして立派な日本人にならうと努力して居りますが、此の努力が内地人には案外分つて居ないと思ひます。個人個人が日本人の性格を身に附けるためにどんなに努力して居るかに就いてお伺ひしたいんですが……

〔司會者〕 その努力や苦しんで居る實情を小説に書いたのが、文藝臺灣に載つ

た陳火泉君の長篇「道」ですね。あれは良いですね。實際感心しましたね。

〔記者〕 あれは本島人の事を書いたものですが、内地人があれを読んだ場合、ハツとびつくりするのぢやないでせうか、こんなに迄苦しんで居るのかと思つて……

〔司會者〕 第三高女の藤谷先生に本島の女性、特に若き本島の女性がどんな氣持で勉強し、この時局下でどんなに氣負ひ立ち上つて居るかと思つて居るが、例へば、清水君の「道」が、女性に限らな

い申し上げ度いと思ひます。實は私は女學校に参りまして二年足らずであります。その前は約十六年餘り男子の特に本島人の多数居る側に居つたのでありますが、その師範學校の卒業生に對して、私非常に尊敬すべき人間が多數あると

云ふ事を、殊に此戰爭になつてから切實に感じました。先程からも色々お話がありました様に、第一師範からも支那事變の初めから非常に澤山通譯に行きました。勿論大勢の中から銜を重ね、選びに選ばれた人達でありましたが、立派な者が多かつたのです。それ等の人が出先から私に手紙を呉れて居りますが、一々例は申しあげませんが、木當に内地人でも之程立派な心構へを持って居るかと思はれる様な手紙を始終ひつきりなしに寄越すのであります。私それを大事にしてしまつて居りますが、實に感心したものです。その中で、一、二の例を申しますと今新竹の或民間會社に勤めて居ります者で幸田君と云ふ人で、何時かも新聞に出て居りましたが、海軍の柳本少將から非常に可愛がられた者です。何でも司令官も出られて居る席上で臺灣



氏 谷 藤

の事を話せと言はれて、二時間以上も、御歴々の前で臺灣の教育の事を話したさうです。それで臺灣の教育と云ふものが、お前の様になつて居るか、お前の様な者もさう云ふ教育を受けたのかと、かう云つて感心して聴かれました。この幸田君が最近私に手紙を寄越して来ました。幸田君は、柳本少將から會つて「斃れて後巴む」と云ふ直筆を頂いて居る、その事が新聞に出て居りましたから私は非常に嬉しく思つて、本人に手紙をやりまして、本人に返事をかう云ふ事を言つて居ります。『柳本閣下が昨年〇〇に來られた時に私(幸田君)を頻りにお尋ね下さいまして一度逢ひ度いと

言はれた由ですが、生憎病氣のために臺北で治療を受け、病中であつたのでお會ひする事が出来ず、柳本閣下は名刺を置いて歸られたんですが、所が名刺を預つた人が私(幸田君)に渡すのを忘れて、最近渡されたので初めて〇〇に柳本閣下がお出でになつて昔の通譯だつた、私を懇々訪ねられたといふ事を知つたんですが、最早お禮を申し上げる事も出来なくなつて、非常に残念だ」と申して居ります。此一例を見ましても、少將と云ふ程の方が一通譯の事を何時迄も思はれると云ふ人情は、少將の御立派な心持も有難いのであります。が、一本島人青年が、さう迄思はれるといふのは、幸田君自身にも餘程よい所が無くしては有り得ないことである。それから又廈門の、總督府直營の國民學校に勤めて居る青年であります、之も船に乗り込んで

御奉公したのですが、その間の勤務状況は實に立派なものであります。歴々お賞めを頂いたものであります。在學中から飛び抜けて立派な者でありまして、本島人の青年に之程立派な者が居るか、私始終思つて居りましたが、それには一つの理由がありました。彼は廈門で生まれて育つたのであります。其處の土地一錢も四億となり武器となる増産へ皆が二宮金次郎

決戦目標

に於て日本の有難さを感ぜられたのです。又父親が亡くなる時に、かう言つて亡くなつたさうです。自分は日本のお陰でこんな幸福な生活が出来た、どうかお前はお國の爲に盡して呉れ」と最後の言葉がそれであつた。それ程迄に言はれて居る關係もありましたが、實に立派な青年で事變が始まると直ぐ拔擢されました。一錢も四億となり武器となる増産へ皆が二宮金次郎

〔石岡庄・郭奇強〕 議論は駄目々々黙つて實踐
〔八塊庄・郭福龍〕 下げよう生活、あげよう貯蓄
〔鹿谷庄・松岡慶子〕 今からでも遅くない切詰め生活
〔淡・水・高山泰治〕 國は決戦 臺所も決戦
〔同〕 許學禮

軍の通譯になつたのであります。數へれば澤山ありますが、之等の青年に對してどうも内地人の一般の考へが、まだ、何となく本島人であると思ふ様な一つの特別な見方をして、もつと掘下けて考へるといふことが無い様であります。それから、女性の話ですが、昨年の暮に看護助手の募集がありました。あの時は丁度卒業する前で、未だ就職口の決つて居らない前でしたから生徒にその事を話しましたが、本島人生徒の半數以上の者が立ち所に志願したのです。その志願の時に大變面白い話があります。學寮の生徒で一人大變親の家が離れて居るものですが、家に許しを受けさせたのです。所がその父親と母親との電報ですが、かう云ふのが來ました。「父母喜ぶ行け、お國の爲に」といふのです。之は宜國の方の生徒であります。倉

新調する頭ほど古い (新竹王 炳)

○決戦目標集 ○内容 決戦生活の實踐を激勵するもの。○隔週 毎月一日(翌月號)に發售 ○用紙 官製はがきに様書、一枚三句以内 ○優秀作品には演劇 ○宛先 新建設編輯室

監が非常に喜んで、朝禮の時にかう云ふ電報が来た。皆に言つたら、生徒達も非常に感激したと云ふ事ですが、名文ですね。「父母喜ぶ、行け、御國のために」。この親たちも實に偉いと思ふ。親も子も、こんな心持ちになつて居る一家は臺灣に相當に有ると思ひます。さう云ふ點は我々が充分に見て長所を何處迄も伸ばして行く。又反面に短所もありますが、それをこせくと云ふよりも長所を伸ばして行く。又反面に短所は自然消滅して終ふのではなかつたか、かう云ふ事を學校に勤めて居ります立場から始終思つて居ります。

本島青年に慫慂みはないか

【司會者】さう云ふ實例はもつとありませんか。あの小説の「道」にもありましたが、本島の青年で熱心に皇國民にならうとして張

り切つて居りますが、その間に内臺の關係や何かで非常に悩みを持つ、それが陳火炎君の小説に出て居りますが、あれをお讀みになつたら、よい意味で悩む本島人青年の氣持がよくわかりますね。

【辜氏】「臺灣を見直せ」と云ふ事に就きましては、私は一本島青年として見直して呉れと云ふ事は申し度くありません。見直して呉れと云ふ事は後の事で、その前に先づ本質的なものを作り上げる事が本當でありつて、自然に臺灣を見直して呉れる様にならなければならぬのであります。併し乍ら殊に若い本島の人は、熱と意氣に燃えてより良き、或は完全な日本人にならうとの意欲が非常に燃え上つて居ります。之を如何に指導するか本島の統治の一つの大きな問題であり、それが皇民奉公運動の

一つの大きな目標であらうと思ひます。その意味に於て、矢張りその眞の姿や生活を正しく認識して貰はなければならぬと云ふ所から臺灣を見直すと云ふのは本島の青年の悩みはあの小説にもあります通り、完全な日本人にならうと云ふ氣持が強いが、必ずしもそれ



辜氏

を周圍が助長するに至らぬ事は、結局正しい姿に對する認識が未だに一部に於てはつきり判つてゐない。さう云ふ様な意味に於て、殊に若い人を見直して呉れと言ふ事は借越かも知れませんが言へるんぢやないかと思ひます。それでは臺灣ほどの點が一番曇つたかと云ふ事を考へますと、從來

の臺灣には私は組織と云ふものが無かつた、大きな團結の力がなかつた、民間的なものがなかつた、隨つて其處に於て、島民が本當に國家の一部分であると思ふ様な意識が動もすれば鮮明ではなかつたと言ひ得ると思ふのであります。支那事變それから大東亞戰爭殊に皇民奉公運動が臺灣に起つてから臺灣の社會が、ばらばらであつた從來の社會に一つの組織が出来た。さうして本島人の團結の力、自分達を國家の一員である、固まつて行かなければならぬと云ふ氣分が自ら其處に湧き上つて来た。其處に看護助手も、勞務奉公團、延いては陸海軍志願兵の制度が起つて来たものと私は思ひます。その意味に於て、今度の志願兵制度には非常に期待を存して居ります。第一回の〇〇でXXを受けた連中が大稲埕だけで二十河名ありましたが、そ

の壯行會をやりました、私壯行の辭を述べましたが、その時の彼等の面魂と云ふものは實に大したものでした。顔付、目付が今迄の本島人とは違ひますし、喜んで御國のために死ぬと云ふ氣持、何とも言ひ知れぬ氣負ひ立つた氣分が顔に満ち溢れて、我々が鞭撻されたのであります。愈々面會に來いと云ふ電報が來て、私も或人に面會に行きましたが、何時發つとも知れんと云ふ時であり乍ら些かも氣持の上に動搖がなかつた。喜んで御國のために死なうと云ふ固い覺悟でありまして、知らずく私も泣いて来たのでした。殊に愈々歸ります時に、お父さんに後で此の手紙を讀んで聞かして呉れと言つて一通の手紙を渡されましたが、その手紙と云ふものが誠に立派なものであります。それは自分の父親には再び生きて會はないと云ふ事が繰返

話下さいませんか。

看護助手は戦地て何を學んだか

【米島氏】別に取り立てて言ふ事はありません。ただ私共が召されて此の一年の間、楽しい事も辛い事もありませんが、然しそれは個人的なものに過ぎませんでした。然し私共は歸つて來て一寸意外に感じた事は、歸る前に如何にも臺灣が緊張して居ると云ふ事を



米島氏

何程も聞かされ、却つて戦地歸りの私達が戦後の人から、その動作やなんかについて注意を受ける位ぢやないか、それ程臺灣が緊張して居るんだと云ふ事を聞か



養女の解放

現在臺灣には表面は養女として入籍してゐるが、事實は下婢として使用されてゐる女子が相當に上つてゐる。こればかりで臺灣で行はれてゐる養女制度(身價を支拂つて買取られた女子)の遺風であり、領事館の制度が禁止せられたので、養女として入籍せざるやうになつたのである。

來る前は五月八日のあの空襲を受けたので、随分緊張して居りました。從つて歸つて來て此の様子を見て悲觀したもので、五月八日は皆でない空襲だつたと同つて居ります。あの日は私共看護助手も、陸軍看護婦や、救護看護婦は民衆の急救處置を致しました、しかし養女とは云へ、これらは何れも生家より買取られたもので、養家の意思如何によつて將來を左右される。中には初等教育はもとより結婚することまで許されず、一生不幸で暮らす者が多い。本島の中流以上の家庭には必ず一人はかうした女子が養はれてゐると云つても過言ではない。この養女に對する家人の態度は、内地の女中に對する觀念とは全く異なるものがある。極端に云へば人間らしい取扱をしてゐないのである。概して本島女性が家庭の中の炊事とか針仕事とかの些細な勞さへ惜しむと云はれるのも、家庭にかうした養女の存在があり、人を使ふことは知つても動くことを

尤も私共看護助手は技こそありませんが、死ぬ覺悟をもつてあの日はお手傳ひしたのでした。擔架で搬き出すにも普通なら肩が痛くなつたりしますが、その日は私共全身泥まみれ、血まみれになつて患者を抱き上げて歩いたのであります。擔架を擔いで口惜し涙を知らないからである。内地に於ては既に法規により勞務者としての女中の制限が行はれ、これを軍需方面等に動員してゐるときである。本島の勞務問題はまだまだそれと際迫はしてゐないにしても、養女の解放こそ、その志願が社會的地位の高い上流社會だけに、影響するところは極めて大きい。先づ教化委員あるひは奉公委員等の肩書を持つ者が、率先垂範、自家の養女を解放することこそ、人道上看ても最も望ましいことではなからうか。自分は、未だにかうした不可解な制度が本島社會に公然として行はれ、誰も怪しむ者がないことを憤るものである。

【司會者】全く同感です。次に米島さんはこの間看護助手として任地から歸つて來られましたが、戦線に於て身に感じた事、若い女性の氣持と云ふものを一つお

流しながら運んだのでした。戦地に行かなければ、この氣持は判りません。私共這つて参りましてお友達に會ひますと、矢張り戦地に行つて良かった、来年も是非行くんだと話合つてますが、行かなかつた事を随分口惜しがつて居る人もあります。私共は臺灣女性として参りましたが、果して任務に就いて充分お盡しできたか否か判りません、その間、兵隊さんから何處の國(内地の何縣)の人かと聞かれたんですが、「臺灣ですよ」と言つた時には、初めから臺灣と信じて呉れた人は一人も居りません。皆九州の人でせうと言はれました。その後色々のことと判つたのでありますが、その時は私共が臺灣女性であると云ふ事は誰も分りませんでした。私共は臺灣を代表して参りました第一回でありまして、向ふの將校さんにも大變可愛がつて頂

きました。部隊で花を咲かして居るのは看護助手だと迄お褒めに與つたのであります。歸つて来てから考へて見ます毎に餘り早く歸つて来た事を後悔して居ります。もつと長く勤務すれば良かったとつくづく感じて居ります。

〔記者〕 本島出身の方が現地から歸つて来てまつ第一に感じることは、自分は戦線に於て本島人であると云ふ氣持なんか一切吹飛んで終つたと言ふ事ださうですが……。

〔米島氏〕 本島女性と云ふ様な眼は注がれませんでした。又こちら本島人であるとも云ふ様な意識は全然有つて居りなかつたのです。

〔記者〕 戦地にあると國家の爲にと云ふ大きな目的に關聯があるので、本島人とか内地人とかの意識を有たないのだと思ひますが、こちらに歸るとそれを有つと云ふのは、深く反省すべ

き點ですね。

〔米島氏〕 戦地では本當に、自分が本島人であると云ふ感じなどはありませんでしたが……表面にこそ現はれて居りませんが、内心では一寸さう云ふ感じがします。

〔司會者〕 官廳では内臺の感じ、感情の問題なんかどうですか。

〔黃氏〕 先程もお話がありました。今迄は假に國家意識に燃えて居つた者があつても、それを表現する方法も機會もなかつた、それが此の事變に依つて機會が與へられたと云ふ事は言へるであらう。その一例と致しまして、私東部に居りました時に一人の青年を採用しましたが、或學校の騒動事件に卷添を喰ひまし

て、願に依り退學といふ事になつたのです。その實矢張り一種の民族意識の現れと云ふ事で處分された様になつて居ります。見た所さう悪くは居りませんが、内心で、寧ろ非常に熱情のある、よく磨けば良く光る様な男で、當時の事情はよく判りませんが、使ひやう一つで却つてお國の役に立つと云ふ様な考へから思ひ切つて採用したのであります。

愈々採用されます時には固い決心を述べまして宣誓したのであります。今迄の不徳を取返すと云ふ様な氣持で、すね。たまく第一回の陸軍志願兵制度に眞直ぐに志願したのであります。さうした事件に卷込まれたのは残念でなりません、何時か此の不名譽を取返へす、愛國の熱情を表はす機會あらばと云つて居りましたが、自分の罪滅ぼしの良い機會と志願したのであります。

を私共としては念願に堪へません。誰か此の差別観に就いて何かお考はありますか、有るだけの事はさう出して、さうして色々な觀點から見直す事が必要だと思ひます。

〔記者〕 今の青年の氣持は差別を無くするよりも、もつと切實に感じて居る事は内地人との精神的交流を先づきに考へて居るんぢや無いですか。もつと人間的な結び合ひ、さう云ふものを非常に考へて居るんぢやないですか。

〔黃氏〕 精神の結び合ひの話ですが、私は非常に何と言ひますか、個人的に私は學校時代と云ふものが小學校から大學へと参りましたその間十數年の間、内地人の多くの友達と交つ

偶々本島人であるがために民族意識と考へる事は相當考へなければならぬ、さう云ふ様な民族意識として考へて行きますと、却つて民族意識でないのが民族意識の方に誘導される恐れがあります。その點は特に我々注意しなければなりません。

指導階級は青年層から愛想をつかさかれてゐる

〔司會者〕 皇民奉公運動に限らず、總督府からの上意なんかも、臺灣は割合におとなしく、素直に受け入れられてゐると思ひますが、其の點はどうですか。或は又奉公班なんか御覽になつて……案外素直に受け入れられて居ると思ひますがね。

〔清水氏〕 上意下達と云ふ事は相當行はれて居ると思ひます。寧ろ臺灣は下手

をするやと行過ぎる事が考へられます。處が下情上通と云ふ事になりまして仲々圓滑に行つてないんぢやないかと考へられます。之は矢張り言語の問題とか色々の問題もありません、實際又奉公運動が本當に活躍して居るかと思ひますが、さう進行して居らない所もありまして、已むを得ん所もありません。もう一つは組織上に色々の關係もあるんぢやないかと思ひます。早い話が奉公會のそれでも中央奉公委員、參與或は地方の奉公委員、參與の方々の選任も矢張り舊來の慣習でやつて居る域を脱しないのでして、もう少し思ひ切つた人選なり銜銜をやれば、本當に潑刺たる意見が出るんぢやないかと云ふ事も考へられますね。

〔司會者〕 そこで、私もまあ陳火泉君の小説を讀んで本島の青年が色々な周囲の事情から精神的煩悶を續

け乍ら、而も本當に日本國民になり切らうと思つて、苦心し努力して居るあの姿が良く書けて居ると思ひます。かう云ふ様な氣持は今日の青年は大部分が有つて居ると思ひます。それで私の今迄の體験で申しますと、今の臺灣を背負つて立つ……と云つた位の旺盛な氣魄をもつて競ひ起つて居るのは、本島では實に此の青年層であると思ひます。この青年層が、これだけ氣負ひ立つて居るといふ實狀を私は本島人の指導階級がもつとばかり認識して居ると思ひます。此の認識が足らずに舊來の指導者が舊來的な考でやつて居るんでは、青年達から愛想をつかさかれ、その指導者は置いてけぼりを喰ふのでありまして、この點は臺灣の指導者層がよく見直して欲しいものです。「臺灣を見直せ」と云ふ此の座談會の趣旨も實は此處に大きな意義

があると思ひます。指導者層がもう一歩時代の進みを見、臺灣の實狀を正當に認識して指導しない指導者としての立場は自然に崩壊して終ふと思ひます。それからもう一つ差別観と云ふものが今尙現存して居ります。之は差別すべき色々な實情や實體が存在して居りますから、差別を今直に全部取り去る譯には行かない、例へば教育が充分でなく、皇民意識が充分に徹底して居らない者や或は國語が全然解らん者があります。或はこの戦時下で國家の要請が今何であるかと云ふ事さへ一向に判らん者が有ると云ふ様な色々な面がある限り、内地人と本島人と高砂族との三人兄弟でも、勢ひ兄と次兄と末弟との區別をつけねばならぬことは已むを得ないことだと思ひます。唯この差別観が一日も早く除かれ得る様な客觀情勢になること

差別感よりも精神的な交流を

〔記者〕 今の青年の氣持は差別を無くするよりも、もつと切實に感じて居る事は内地人との精神的交流を先づきに考へて居るんぢや無いですか。もつと人間的な結び合ひ、さう云ふものを非常に考へて居るんぢやないですか。

〔黃氏〕 精神の結び合ひの話ですが、私は非常に何と言ひますか、個人的に私は學校時代と云ふものが小學校から大學へと参りましたその間十數年の間、内地人の多くの友達と交つ

て非常に楽しかつたのでありましたが、その友達の間に於て貴様は本島人だ、俺は内地人だと云つた様な気分は微塵もありません。お話を精神的な交はり、と云ふものが、もう少し本島人と内地人の間に欲しい。この精神的に結び合つた一例と致しまして、奉公壯年團に於きましては従来臺北市の綱領の中に内臺人の勢力を結集しとありましたのを、本島青年の學校を出た者と綱領を變へたのであり、それから又戰場において、國家のために命を投げ出して戦ふといふ様な場合は、もはや其處に内臺の區別も何もなく凡ての問題は無くなつて了ふのであります。それが國內に歸へるとそれでは行かないのであります。それだけ結び付が弱まるからでありまして、本島青年の學校を出た者の大きな糧は、自分は之程日本人になりたがつて居るのに、どうしてかと云ふ所であり、非常に人手が足りない時に、内地人同様認められない、さう云つた気分が一部にあり、殊に之から南方に向ふ者などは出来る丈さう云ふ本島有識青年を抱擁して、悪ければ片づ端からやめさせる、と云ふ様にして、一應は全部を受け入れたらと思ひます、それがまあ今度の戦争に依つて段々打開されて来た、と云ふ事は之は確かにあるですね。臺灣の相續は分頭制でありまして、親父が死にますと、非常な財産家は別として、その金で自分で仕事をするには少く足りない、進んで喰つて行くんだつたら足ると云ふ。さう云ふ様なのがぶら／＼して居ります。之が私は好ましくないのです、之に對する指導が相當大きな問題になつて居ります。

内地からは臺灣をどう見ているか

と云ふのは意味がないと思ひますね。自分がやらうと思へば部落内に仕事はいくらでもある。さう云ふ人たちが田舎の奉公運動に乗り出して、ぐんぐん部落を導く事が必要であると思ひます。大きな會社や官廳に勤める事が一番自分の成功だと思はれて居りますが、それは別に成功では無いと思ひますね。

〔清水氏〕 蔡文部部長の宗さんは、兎に角專門學校を出て居りますが、自分の部落を率ゐて率先して居ります。かう云つた行方もありますね。

の看護助手の方が歸つて来て、公會堂で茶話會をやりましたが、その時に看護助手の一人が起つて話をされましたが、或陸軍病院で兵隊さんから、「君は何處から来たのか」と尋ねられて、「臺灣から来ました」と答へた所が、「そんなら君なんかは、平素は椰子の葉の下で操踊りをやつてゐるだらう」と言はれて實に腹が立つてしまつた、それでいろいろお話しして本當の臺灣を理解して頂きました、自分は看護助手としての御奉公は足りないが、内地の兵隊さんに臺灣と云ふ所の實情を本當に知つて頂いたといふ點だけで、自分が看護助手として行つた効果があつたと思ふと連懐して居りました。もう一つは内地に高砂族が非常に宣傳されて居りまして臺灣と言へば高砂族とか何とか云つて臺灣を非常に猥褻的に考へてゐる。これを

ども昔年の臺灣が今も尚考へ続けられてゐる遺恨千萬です、もう少し總督府なんか本島の宣傳をしつかりやつて頂いて、少くとも決戦下の此の臺灣を斷然見直して貰ひたいと思ひます。

〔清水氏〕 従来から臺灣の宣傳として映畫とか或は臺灣の夕べをやつて来ました、本當に臺灣の紹介が出来て居るかどうかと云ふことになりまして、非常に物足りない所があります、「サヨンの鐘」の映畫が来ました、あれを見まして臺灣の眞髓を表はして居るのぢやないかと思ひます、非常に違つた様に感じやすいです。

〔司會者〕 皇民奉公會の宣傳は、運動の宣傳で特外ですが、然しさう云ふことも之からは考へていかねばなりません。

〔清水氏〕 我々が内地の議會なんかに行きますと、

臺灣關係の議案が出ますと一番救しく思ふのは臺灣を理解した人が非常に少ないと云ふ事であり、つまり臺灣の認識が無いのでありまして所謂過去の臺灣と云ふものは袋小路のどん詰りの様な状況に見て居つた様に思ひます、之は南洋諸方面に於きましても同様の悩みをもつて居る様です。先般私は南洋の野口さんの「外地」と云ふ小説を読みました、その中にも同じ様な悩みを感じて居りまして非常に苦笑させられた次第です。さう云ふ様に非常に認識が少ないのであります、支那事變後、大東亞戦争後になりまして、臺灣が相當に動き出して来た、と云ふ事は、大多数の者は大體感じて来たのであります、充分に之が解つて居るかどうかが、充分に納得せしむる必要があり、大東亞戦争が起りました臺灣の重要性と云ふ事は大體認め

られた、但しその認め方の程度が、軍需的に或は地理的に必要だと云ふ認識にしか過ぎないと思はれるのであります。我々としてはさう云ふ程度の認識では不満足でありまして、臺灣が所謂總力戦下に於ける國家の要請に對して、如何にその職責を果しつつあるかと云ふ事をよく認識させ、臺灣を見直さざる事が最も大事であります。それでこそ初めて満足される臺灣の認識になるのでは無いかと思ふのであります。臺灣を見直せとあります、結局それにも各方面の見方があります、所謂政治上、經濟上、文化上から色々見直さなくちゃならんと思ひますが、軍事的には所謂「沈まざる航空母艦」である、と云ふ事で充分盡されて居ります、一般にもその認識があると思ひます。又政治、文化、經濟と云ふ事になりますと此の大

東亞共榮圏を建設すると云ふ將來を眺み合せまして、臺灣の此の方面に於ける偉大性が初めて認識されて來る様に思はれるのであります。

又生産の方面から言ひましても、南方共榮圏の産業開發には、臺灣の今迄持つて來た經濟的技術なりと云ふものが直ぐ考へられ、之を利用する外に臺灣を見直さないと思ふのであります、早い話が海南島に於て、早社が就つて海南島の開發に當つたのであります、臺灣の技術、經驗を持つて行きました臺灣拓殖の關係會社、或は臺灣製糖の關係事業が獨り成功して居り、如何に密與したかと云ふ事が、一番最大の眼目であると思ふのであります。

明後年が丁度臺灣統治五十周年になりますね、此の際臺灣五十年史を作つて、初代樺山總督から兒玉總督、後藤民政長官時代の苦心から現在奉公運動の盛ん

な花が咲いた時に至るまで、從來の様な單に記録を集めるのでなしに、大文豪に依頼して、資料を充分に提供して文學的な匂ひの高いものを作れば、不知不諱に反響を呼び起すと思ひますね。

臺灣の經驗と人を南方に活かす

〔司會者〕 臺灣を見直す、と云ふ事は、非常に大きな意義を持つ、南方と結び付けても考へなければならぬ、内地から見てもさうだし、色々の立場に在る官廳の間でもさう云ふ點はもう少し見直して頂きたいと思ひます、之は別に言ふ迄もなく臺灣の地理的使命の外に、この地の人間が、南方に對する知識經驗と云ふものを非常に長い間蓄つて持つて居り、それは今日では非常に貴いものであるといふ點です、臺灣の人間を

手記 南洋十字回生の下

戦ふ臺灣 青年の 南方建設戦記

皇民奉公會が南京市に拓南工業戦士訓練所を設立して早くも一年、七箇月の間、はげしい訓練に耐へてこゝを巣立つた本島青年たちは、南方建設戦士としての誇りも固く、現地軍當局その他の要望に應へて、勇躍海を渡つて行つた。海の彼方では茶葉の熾熱な決闘が行はれてゐた。本島青年もまた戦つてゐるのだ。以下は現地〇〇にあつて〇〇建設事業に協力してゐる拓南工業戦士出身林田勝君が本誌に寄せた南方建設戦記である。

南海を征く 輸送船團

われ／＼を乗せた輸送船は、舵を南にとり、静かな南海の海を走つてゐた。途中寄港する南の島々には翻として日章旗がはためいてゐた。日本は強い。日本に生れたわれ／＼本島青年

の時敵は、今南方建設の戦士として、現地〇〇に向つてゐるのだ。これこそ男子の本懐であり、如何な困苦をも乗り越え、皇國のために死して戰場を守り、御國のためなら、喜んで死に就かう。感激にうちふるふ胸をおさへて、われ／＼は固く手を握り合ふのであつた。對空監視はもとより、何

のであつた。生死を賭したその瞬間、すべての個人的な感情を忘れ、さつきまで争つてゐた奴が、互に助け合ふ、かうした眞實の友情が自然のうちに湧き上つて来るのである。又日本男子だ。落着き、強くあれと、はつと我にかへり、夢見る夜もあつた。

インドネシアも建設に協力

われ／＼の船は、念上第一線に近い任地に向ふべく、〇〇港に待機することになつた。そこは空の美しい町であつた。幾條となく交差する椰子並木のアスファルト道、正方形にしきられた芝生の中には、満洒な赤い屋根が見える。大理石の床、庭園に咲き散らるる可憐な草花、かつてはオランダ人が住まひ、あらゆる権力をほしいままにしたのであらうが、今は新しい指導者日本人の住居となつてゐる。

目に見えるあらゆるものが明るく、われ／＼を刺戟する。町で行會ふインドネシア人はわれ／＼に必らずお辭儀を交はして行く、われながらふと思ふ氣さ



【景風列島の民住原バヤジ】

へするのである。かゝるまで原住民が敬意をはらつてゐることを思ふと、日本に生れた幸福がしみじみとあふれて来る。そしてこの建設戦に逆行するやうなことがあつてはならないと、つくづく痛感するのであつた。

この土地の原住民は、男女共にサロンをまよつてゐる。着物の強烈な色彩はよく南の美と調和してゐる。インドネシアの女の色は、黒くても男には従順、やさしいところが見受けられる。市場で、大きな焼鳥一匹が一團だと云ふのは驚いてしまつた。われ／＼は外出ごとに、この焼鳥一匹を、三人がかりで平らげるのであつた。あらゆる物價がいちぢるしく低廉である。

いと云ふ信念が燃え立つて来る。夢の様な十数日はすぎた。愈々任地に向ふ日が来たのであつた。これからの航海は第一線に近いだけに、最悪の場合を豫想しなければならなかつた。兵隊さんが、港外へ一步ふみ出せば、日本がどんななほけしい戦争をしてゐるかがわかると云つた。既に覺悟は出来てゐるとは云ふもの、悲壯な決意がほどばしり、われ／＼は殺氣立つてゐた。トラックで町を走つた。オランダの捕虜の作業を監視してゐた水兵さんに、「元氣で」と呼びかけられる。營舎の兵隊さんが手を振つてゐるのが、はるか遠くに見える。

異様な原住民の風俗と習慣

目的地〇〇に着くと、すぐさま宿舎が割當てられた。宿舎ではわれ／＼の到着を待つて風呂が立て、あつた。長い航海に、われ／＼の身體はまるで泥でもぬつたかの様に、どこをさすつてもボロ／＼と垢が落ちるのであつた。一風呂あびて

インドネシア人があまりいていねいにお辭儀をするので、なんとなく急に偉くなつた様な氣がし、胸を張つて、堂々と歩かなければ、日本人の權威にもかゝる様な氣がする。われ／＼が外出毎に注意を受けてゐる様に、日本もまた大東亞の盟主として、世界の注目をあびてゐるのだ。現地にあらわれ／＼は、指導的地位にあることを忘れることなく、醜い行動を絶対にとつてはならないと思つた。かうして現地にあると、自然に心もひきしまり、御國のために充分に働いて皇恩にむくい奉らなければならな



報いられた二十二年の辛苦 本島初の海軍將校

嘉山少尉の家を訪ねて

本島六百五十萬島民の、皇民化への積年の努力と忍苦とが報いられた。去る五月朝鮮と共に本島にも海軍特別志願兵制度が實施された。思へば永い年月であつた。

今、國民の一人々々は新しき世代の創造の爲に、這つと陣痛の苦を耐へ、忍び、戰つてゐる。本島青年の胸の中に、烟のやうに燃える烈々たる闘魂は沸つてゐるのだ。唯、一筋の忠誠と誠の爲ならば……と、海軍發達の日、軍艦隊のもとに忠誠を誓ふ堅い決意と、戦雲に浴した本島青年の表情は、今向我々の眼を去らぬ。

この時「吾、海軍志願後進部隊の義石とならん」と、自ら海軍に身を捧げ、本島人最初の海軍將校たる榮光に輝く一青年がある。臺北市永樂町一丁目番地嘉山一少尉(三三)がそれだ。だが、本島人であるが爲に、全き日本人、全き帝國軍人とならんが爲の一家懸けての努力は「實に涙ぐましいものがあるのである。」(嘉山少尉)

「宏一が本島出身の日本人として、初の海軍將校になつたと云ふので、皆様から……」

「それは宏一が四歳の誕生日に迎へた時のことです。妻の實家は本島人の用ひるもの……」

「それは宏一が三年生の時です。或る内地人の子供と本島人の子供が喧嘩をした事がありました。その時宏一は内地人の味方となつて相手側の本島人に對して「カヤロウ」と云つて罵つてゐたのを覚えてゐます。その時何故か私はハツとした氣持でした。又その反面、宏一に救はれたやうな氣がしたのも事實です。」

「宏一氏は無意識のうちには内地人だ! と云ふ氣持を抱いてゐたのである。宏一氏を育てたのであると北一中を経て臺南高工に進んだ。この時、即ち昭和十二年〇月父清實氏は海軍軍醫として召され、パイナス灣敵前上陸以來各地に轉戦して昭和十六年〇月晴の歸還をしたのである。それ以來清實氏の自宅には軍艦の……」

「宏一氏の將來を思へばこそであつた。それには先づ國語を教へる事から始めた。しかしそれは並大抵の事ではない。當時家族は清實氏夫妻とその兩親、それに清實氏の姉弟が一緒に住んでゐたが、その中で國語を話し得る者は清實氏夫妻だけなのである。その上永樂町一帶に住む内地人は一人もなし、兩親が學校に出れば、幼い宏一氏は自然國語の解らぬ祖父母の手で一日の大部分を過す事になる。これ……」

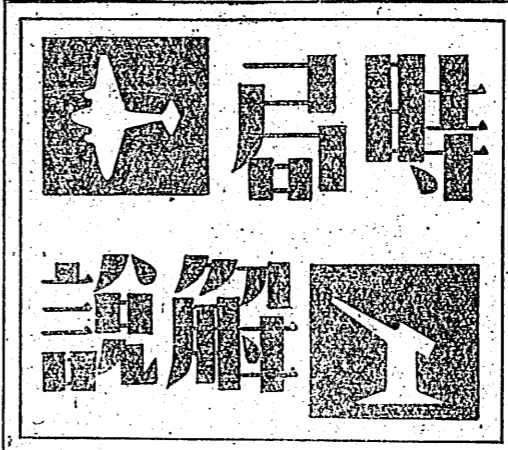
では不可なりと云ふので、母の和子さんは産褥の床を離れ學校に出るやうになる。と、女中に宏一氏を背負はせて共に學校に通つたのである。そして、未だ國語の充分でない女中にも自ら國語を教へた。清實氏は夜八時から約一時間、國語の時間として宏一氏を中心にして清實夫妻と女中を合せて四人が血の出るやうな激しさで國語の修練を始めたのである。一日の勤めを終へ、棉のやうに疲れた體に鞭打つて續けた。國語の時間の堆積はやがて宏一氏を「臺灣語を知らぬ子供」としたのであつた。しかし頑迷な祖父はそれを酷く怒つた。「俺と話を出来る子供に育て、どうするのだ……!」と清實氏夫妻とは暫くの闘争もせぬと云ふ有様であつた。だが清實氏の堅い決意はそんな事で崩れる譯のものではなかつた。益々日本人としての教育に邁進したのである。宏一氏が玩具や繪本……」

「それは宏一が四歳の誕生日に迎へた時のことです。妻の實家は本島人の用ひるもの……」

「それは宏一が三年生の時です。或る内地人の子供と本島人の子供が喧嘩をした事がありました。その時宏一は内地人の味方となつて相手側の本島人に對して「カヤロウ」と云つて罵つてゐたのを覚えてゐます。その時何故か私はハツとした氣持でした。又その反面、宏一に救はれたやうな氣がしたのも事實です。」

「宏一氏は無意識のうちには内地人だ! と云ふ氣持を抱いてゐたのである。宏一氏を育てたのであると北一中を経て臺南高工に進んだ。この時、即ち昭和十二年〇月父清實氏は海軍軍醫として召され、パイナス灣敵前上陸以來各地に轉戦して昭和十六年〇月晴の歸還をしたのである。それ以來清實氏の自宅には軍艦の……」

「宏一氏の將來を思へばこそであつた。それには先づ國語を教へる事から始めた。しかしそれは並大抵の事ではない。當時家族は清實氏夫妻とその兩親、それに清實氏の姉弟が一緒に住んでゐたが、その中で國語を話し得る者は清實氏夫妻だけなのである。その上永樂町一帶に住む内地人は一人もなし、兩親が學校に出れば、幼い宏一氏は自然國語の解らぬ祖父母の手で一日の大部分を過す事になる。これ……」



印度獨立運動 — チャン
新段階に入る — ドラ
 ・ボース氏が日本に姿を現
 はしましたネ。
 ーラ。將に神出鬼没したネ。
 イギリスや、印度政府が吃
 驚しただらうよ。
 ー印度總督のリンリスゴ
 が許めて、東亞軍司令官ウ

エーベルが新に印度總督に
 任せられたことも、チャン
 ドラ・ボース氏の出現に備
 へる意味があるでせうね。
 ー大いにあるネ。リンリス
 ゴーの失政はともかくとし
 て、ウエーベルの新任によ
 つて軍・政の一体化をはか
 り、場合によつては断乎武
 力に懸へても獨立運動を強

を要観してゐたんだ。そこ
 に、突如として一昨年十二
 月八日大東亞戦争が勃發、
 香港、マニラ、シンガポ
 ルの陥落、ビルマ及びヒ
 ツピン獨立に関する東條首
 相の歴史的宣言、及び印度
 獨立についても、全幅の支
 援を惜しまぬとの聲明等が
 あり、革命児ボースはもう
 矢も楯もたまたまなくなつた
 んだネ。まるで風の如くに、
 颯爽と勇姿を東京へあらは
 したんだ。

ーチャンドラ・ボース氏は
 昭南の印度獨立聯盟の會議
 で臨時政府組織の用意があ
 るといつてゐますネ。一た
 い臨時政府とはどういふ組
 織と機構性格を有つもので
 ですか。
 ーボース氏がいつてゐる
 臨時政府は、印度獨立
 の目的を達成するまでの暫
 定的な組織であつて、その
 使命は反英獨立闘争にある
 と。従つて、眞個の自由印

度の獨立政府ができれば、
 自然發展的解消を遂げるも
 のだ、と。國民義勇軍はそ
 のために組織されたのだ。
 ーボース氏が、義勇軍を携
 けて反英獨立の武力抗争を
 開始したとしてそれは印度
 に對し、どのくらゐの影響
 を與へるでせうか。
 ー先刻もいつた様に、印度
 國內には、彼が指導して來
 たフォワード・ブロックの
 戰局的精銳分子が、英、印
 當局の彈壓をのがれてまた
 各地に散在してゐる即ちフ
 ォワード・ブロックの組織
 そのものは潰滅してつゞて
 も、人は依然として残つて
 るのだから、これらに與
 へる影響—士氣の鼓舞はす
 ばらしいものがあると思ふ
 ネ、又、ガンダーにつぐイ
 ンド最大の指導者といはれ
 るネール氏なども、思想的
 には多分に社會民主主義的
 な匂ひと、親英的色彩を有
 つてはゐるが、インドの情

勢が一變した今日、ボース
 氏がつづから國民義勇軍を
 率ゐるで驚起したことを識れ
 ば、元來が行動的人物であ
 るだけ、どんな積極的な動
 きを示すかもしれない。
 ーでも、ネール氏はいま囚
 はれてどこかに監禁されて
 るでせう。
 ーそこは印度だ。逃げる氣
 にならばなシとかなるン
 だ。ボース氏だつてさうだ。
 刑務所から運動指令だつて
 出せる。それに、ボース氏
 にとつて、も一つ有利な條
 件は、さつきもいつた様に
 ベンガル州の出身だといふ
 ことだ。御承知の通り、
 ベンガル州はビルマと國境
 を接してゐる。今後、ボ
 ス氏が如何なる動きをする
 かしらんが、もし、彼が國
 民義勇軍を率ゐるで、ビルマ
 國境からベンガル州へ出撃
 するとしたら、ベンガ
 ルの印度民衆は、それこそ
 草木の附くが如くボース氏

に隨いてゆくだらう。
 ーさうなれば素晴らしいで
 すがネ。ビルマが獨立する。
 ヒツピンも獨立する。タ
 ー國は、舊領土四州を回復
 する。そして又印度も獨立
 する、といふことになれば、
 萬邦をしてその處を得し
 め、萬民をしてその塔に安
 んぜしめるといふ、聖國以
 來の八紘爲宇の大理想が愈
 よ實現するわけですね。
 ーさうだ。ただ、こゝにも
 つとも遺憾なことは、蔣介
 石政權が依然として米英依
 存の惡夢から醒めきらず、
 アジアの諸國が、悉くアジ
 ア解放の戦ひを戦ひつゝあ
 る時、彼ひとり支那の奥地
 にボツンと取り殘されてゐ
 ることだ。裏切り者に對す
 る當然の報いといへばそ
 れまでだが、その第一歩を
 踏み過つたために、いまの
 やうなぬき差しならぬ羽目
 に、みづからを追ひ込んだ
 彼に對しては一擲の涙なき

を得ない。
 ーその重慶政權自體が、將
 領の離叛で益々瘦せ細つて
 ゆくてはなりませんか。
 ー案發不良なんだネ。可哀
 想だが、いまのまゝでは野
 垂れ死の外はない。釋迦で
 え縁なき衆生は度し難い、と
 いつた。自業自得だらう。
南太平洋と — 話は外
 地中海方面 れますが
 の戦況 政權が最
 後の勝利をたのみ、英の
 反攻が、最近特に熾烈にな
 つた様ですね。
 ー味をやりをるネ。
 ー敵は太平洋と地中海と、
 どつちを重視してゐるん
 でせうか。
 ーどつちも重要視してゐる
 といふ以外ちよつと比較は
 できません。ただ、これだ
 けは言へると思ふ。即ち、
 吾等は南太平洋の戦況が、
 日本本土から極めて遠い地
 域又は海域で行はれてゐる

法學部 各 科
 經濟學部 各 科
法政大學
 詳細ハ左記事務所電話四四四八番見取要領ヲ
 東京都麹町區富士見町法政大學

法學部 各 科
日本大學法文學部
 詳細ハ左記事務所電話四四四八番見取要領ヲ
 東京都神田區三崎町
 日本大學法文學科教務課

經濟學部 各 科
日本大學商經學部
 詳細ハ左記事務所電話四四四八番見取要領ヲ
 東京都神田區三崎町
 日本大學商經科教務課

ため、獨逸や伊太利が敵の地中海方面の攻勢に對して感ずるほど、身近に、切迫して感じないが、戦闘の激烈さ、そして敵反攻の規模と、その戦況に於ては、決して地中海方面のそれに劣るものではないといふことだ。現に敵の海軍の配備状況などをみても、地中海又は大西洋方面のそれに比較して實に劣らぬ。むしろ、その點は、むしろ全く見當違ひをしてしまつたアメリカは別として、英吉利の艦隊は、恐らく大西洋の船舶護送と、地中海方面作戦に百分を動員してゐると思つたのですが、艦隊、航母を基幹として五十隻以上がら優勢な艦隊が印度洋に配備されてゐるなどとは夢にも思はなかつたです。印度はイギリスの寶庫だ。夢にもそれを手離すなどとは思つてゐない證據

だ。しかし、それも三億八千萬民衆が、又イギリスの政策に柔順であることを前提としてのみ可能だ。チャンドラ・ボース氏が、國民義勇軍を率ゐる起ち、印度獨立が、いよく武力抗争の段階に入つては、イギリスの寶庫インドの確保も基礎からぐらいついて来る。焦つてゐるんだ。それが、又敵の反攻となつて現はれる。歐洲でも、南太平洋でも同じことだ。このまゝ、長期持久戦にもつてゆかうとすれば、ドイツ及び日本は占領地資源の活用によつて空々略略感勢を強化することは必定だ。リッアは、いふのが米、英兩國の共通の氣持だ。それにソ聯及び重慶の聯合陣營からの脱落的傾向も亦愈々濃厚になつて来た。こゝで一番、乾坤一擲の第二戦線を結成せざるを得なかつたのだ。

得なかつたのだ。チャーチルは、今度の地中海作戦が開始されるちよつと前に、秋の木の葉が散る頃、地中海方面及びその他の歐洲各地に於て、未曾有の激戦が展開されるだらうといつてゐます。それにしては、今度の地中海作戦は、時期に於ては、少し早過ぎると思ふんですが。ソ聯の救援切なるものがあつたんだ。東部戦線は例年ならば六月に入ると共に、獨逸の夏期大攻勢が展開されるのだが、今年は七月に入つても戦局の動きは雙方共慎重を極めてゐる。しかし、漸次獨逸軍の重壓が加はつてきたことは事實だし、米英の歐洲第二戦線結成がなければ、ソ聯の實力を以つては、その重壓を支え切れないのだ。それにソ聯としては、依然として米英の戦争指導方針と一致しないあるもの

がある。所謂疑心暗鬼だ。又こゝらで、ソ聯のみの犠牲による對獨逸戦争を米・英に轉嫁して、息を吐きたい氣持もあらう。あれやこれやで、即時歐洲第二戦線の結成を要求してゐるのだ。すると、今度のシチリア島上陸作戦は、米・英の準備未だ整はざるに行はれたとも觀られます。新戦線の準備は相當してゐるが、その時を得たかどうかは疑問だ。何故ならば、チャーチルのいふのは、ソ聯の冬期反攻が開始される頃をいつたのであらうから、獨逸軍が依然として、東部戦線の主動性を把握してゐる今日では、いふなん時、獨逸軍がその優勢なる東部戦線の兵力を反轉せしめて、米・英上陸軍を一舉殲滅する作戦に出るかわからないからだ。

シチリア島の米英聯合軍は大分苦戦の様ですね。いまのところ、第三國間の情報をもつては、獨逸軍の優勢を傳へてゐる。米英軍としては、こゝで失敗すれば、所謂歐洲第二戦線結成も一頓挫を來すことになる。これに失敗すれば、東部戦線にも大きな影響を與へ、秋の木の葉が散りし前に、米・英没落の吊鐘が全世界に鳴り響くかもしれぬ。南太平洋方面は、その守り堅壁だ。戦闘に關するかがり心配は無用だ、ただ、いづれいふ様に今日の戦ひは竹槍三千本式の單なる觀念的精神主義だけではどうにもならぬ。ヒトラー總統は、前線から退つて來る兵士にいつも斯ういふさうだ「今度君にもつといふ武器を與へよう」と。これだ。これが勝敗の岐路を決するのだ。

臺灣維新への道

〔奉壯問答〕その後の奉壯の動きと方向

〔問〕 壯年團のホラ、といふか
目録は、
〔答〕 一口にして云へば高度國防體制の確立にある。之が爲には、凡ゆる矛盾を克服して國家の要請に應へ得る社會生活の革新を斷行するにあると思つてゐる。

〔問〕 革新といふ言葉が問題になつたといふが、
〔答〕 革新といつても従来の革新團體と同視されたこともあるにはあつたが、従来の革新團體が地域戦域の國民組織の強化といふ點を動員すれば無視し、乃至は無視せんとするのに對して、壯年團が飽く迄の如き方面の活動にその基礎がおかれて居るといふ點を認識して欲しい。

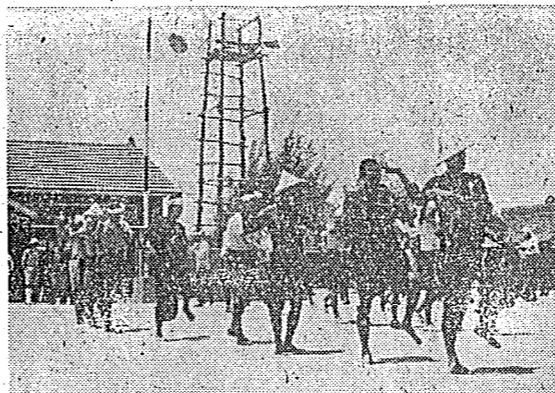
〔問〕 壯年團の性格が一般市民に割つてゐないは別として、團員の方に關しても指導のゆゑに即發明を聞けないのだが、
〔答〕 先づ壯年團が奉公運動の實踐部隊たる性格を有つてゐるといふことは本團發足以來一箇年有半に於いて、金屬回收、貯蓄獎勵、硬貨回収、堆肥の増進等々の問題を通じて殆んど完全に近づくまでに實踐してゐる事實が最も雄辯に之を説明してゐると云つて過言でなからう。この點は一般市民と雖も認識するところだと思ふが、壯年團は單に實踐部隊たるに止らずして、奉公運動の中核だといふ本質的性格を有つてゐる。至つては、一般市民は勿論のこと、團員の中にも未だ認識を缺いてゐるものがあるやに思ふこともない。それは實踐部隊としての性格具現に忙しかつて、本質としての中核的性格に氣附かなかつたと云へぬこともない。壯年團の使命が國民奉公會の指示事項を黙

黙として實踐するといふだけにと止るとしたら、壯年團は部落會、區會等の地域國民組織と或は産業、商會等の職域國民組織と異なるところがないのであつて、團の異なる點は、奉壯は一定の領域に於ける全員を組織する大衆組織にあるとして、又實踐部隊たるが故に、青年といふ國民中の精英中堅を職域を通じて選抜し、これを結果した中核だといふことにある。従つて壯年團運動は何んでもかんでやるといふ性格ではなく、重層的に運動をとり上げることで果敢性が要求されてゐるのである。そして運動に威力を持たせるといふか、運動の効果を擧げるといふか、團行動を以て目的の遂行に當るものであつて、團員個人の動きといふものは認めてゐないものである。

〔問〕 それでは中核としての活動如何を聞きたいのだが、
〔答〕 若し壯年團が單なる實踐組織に過ぎないならば、産業、商會、青年運動團體と伍して著しく一般の意味の實踐に任ずれば足りるので、その意味では壯年團員は成可く數の多いことを要するといふ結論にならうし、極言せば團主が一番便宜だとも云へよう。然しそれは團が中核として、その最も重視すべき一面を忘れた點に過ぎないものであつて、即ち中核たる團は一定の國民運動を展開するに當り、他の團體と相並んでこれを競争を争ひ、又これとなく、飽く迄も各種國民組織、各種團體の背後に立つて、これ等の組織團體をして各々その性格使命に應じて充たし、これを援護或は助成、時には奮勵擁護して自ら好ん表面に出ることは敢てしないのが原則である。團の性格をその下の力持だといふのはこの意味である。といつて中核はたゞ各種組織團體の背後に居るばかりが胆でない、中核でなければ爲し得ない特殊の機能を積極的に發揮しなければならぬ。更に全體の運動を通じて重大なる障害があると認めらるるならば、而も他の關係團體組織の努力を以てしては容易に打開し難いと思はれる場合に、壯年團は自ら進んでその障害の除去に任じ、或は又運動全體と行政との間に連絡調整を要すべきものがあるれば進んでこれに當り、更に進んで行政當局の政策或は統制會等の統制機關の活動等について反省意見を呈すべき點があれば、串直にこれを堂々と指摘する等の工作もこれ又中核として忘れられてはならない任務である。

〔問〕 即發明の理は好く判りませんが、各團の動きの上に、これは新聞を讀んだり、あんなの感じなつたが、今はそれやうな中核たる性格は少しも露見されてゐないやうに見受けられますが、
〔答〕 それはさうだ、奉壯もまだ發足して一年とちよつとだ、無理もないと云へば云へるが、といつて妥協として休息するは許されぬ。本年度の運動こそこの方面に一段の力を致さねばならぬといふ考へて思案を練つてゐるが、先づ團が各界傳統中堅の結果體た

るの實踐を具備することが肝要だ。この實踐を具備してこそ、奉公隊に於ける總力戰體制下の正しき意味での政治力となり、茲に於いて行政當局と表裏一體となると、き初めて行政の完全なる運動遂行が確保されるといはねばならぬ。



頭音産増
頭音産増は去る五月、皇民奉公隊運動の進展のため、皇民奉公隊本部部長の訓令に基き、各支部の部長が、その折本部長の下から燃え上がる皇民精神に、一入深き關心を寄せ、大いに激賞するところがあった。

頃へて来た時には、國民運動の正しき進展を望まない人々の間に於いて、奉公隊の強化發展を望まざるは遺憾とするといつた傾向が生ずる虞がないか。

これは大いにある。但し、この強固な活動をしていくに、國民の對する反對の空氣が漸次強化する

今夜を日についで食糧増産に挺身してゐる農家に、州東石郡に於ける福島郡守前住以来、農村に踊りを興したのが、こゝの皇民奉公隊に於ける農民が田作りのひとときを部落の廣場に集り、はやし太鼓の音もたからかに、飯米英にひびくとばかり、部産民出で老いも若きも手拍子そろへて踊りぬいてゐる。皇民奉公隊本部部長の訓令に基き、各支部の部長が、その折本部長の下から燃え上がる皇民精神に、一入深き關心を寄せ、大いに激賞するところがあった。

「答」 官民一體の實踐如何、皇民奉公隊本部部長の訓令に基き、各支部の部長が、その折本部長の下から燃え上がる皇民精神に、一入深き關心を寄せ、大いに激賞するところがあった。

「答」 然らば必然の結果として國民の中には非同志の存在することゝ免れまい。ときによつたら運動に敵對するもの存在することゝ免れないと思ふが、

「答」 壯年團は眞の皇國總力戰體を完成し、眞の皇國一致の活動基盤を築くが、皇民奉公隊本部部長の訓令に基き、各支部の部長が、その折本部長の下から燃え上がる皇民精神に、一入深き關心を寄せ、大いに激賞するところがあった。

「答」 然らば必然の結果として國民の中には非同志の存在することゝ免れまい。ときによつたら運動に敵對するもの存在することゝ免れないと思ふが、

「答」 然らば、壯年團によつて壓伏せられ排除せられたる皇國體制と雖も、皇民奉公隊の手によつて温く擁護せられる、苟も日本臣民たる以上兎に角除け者にされることなく、皇國體制の確立に追隨し來ること、我が許されること、我が我が大らかなる國體、わが寛容なる民族性又それを如實に具現した我が國史上の改新乃至維新の事實に照しても、正に日本的な妙味のある行方と云はねばならぬ。

「答」 然らば、壯年團によつて壓伏せられ排除せられたる皇國體制と雖も、皇民奉公隊の手によつて温く擁護せられる、苟も日本臣民たる以上兎に角除け者にされることなく、皇國體制の確立に追隨し來ること、我が許されること、我が我が大らかなる國體、わが寛容なる民族性又それを如實に具現した我が國史上の改新乃至維新の事實に照しても、正に日本的な妙味のある行方と云はねばならぬ。

「答」 然らば、壯年團によつて壓伏せられ排除せられたる皇國體制と雖も、皇民奉公隊の手によつて温く擁護せられる、苟も日本臣民たる以上兎に角除け者にされることなく、皇國體制の確立に追隨し來ること、我が許されること、我が我が大らかなる國體、わが寛容なる民族性又それを如實に具現した我が國史上の改新乃至維新の事實に照しても、正に日本的な妙味のある行方と云はねばならぬ。

「答」 然らば、壯年團によつて壓伏せられ排除せられたる皇國體制と雖も、皇民奉公隊の手によつて温く擁護せられる、苟も日本臣民たる以上兎に角除け者にされることなく、皇國體制の確立に追隨し來ること、我が許されること、我が我が大らかなる國體、わが寛容なる民族性又それを如實に具現した我が國史上の改新乃至維新の事實に照しても、正に日本的な妙味のある行方と云はねばならぬ。

「答」 然らば、壯年團によつて壓伏せられ排除せられたる皇國體制と雖も、皇民奉公隊の手によつて温く擁護せられる、苟も日本臣民たる以上兎に角除け者にされることなく、皇國體制の確立に追隨し來ること、我が許されること、我が我が大らかなる國體、わが寛容なる民族性又それを如實に具現した我が國史上の改新乃至維新の事實に照しても、正に日本的な妙味のある行方と云はねばならぬ。

「答」 然らば、壯年團によつて壓伏せられ排除せられたる皇國體制と雖も、皇民奉公隊の手によつて温く擁護せられる、苟も日本臣民たる以上兎に角除け者にされることなく、皇國體制の確立に追隨し來ること、我が許されること、我が我が大らかなる國體、わが寛容なる民族性又それを如實に具現した我が國史上の改新乃至維新の事實に照しても、正に日本的な妙味のある行方と云はねばならぬ。

婦人經濟決
戦標語 本會で
婦人經濟決戦標語を
全國から募集した
處、圖算七萬餘に達
したので、審査の結果、次の通り發表せられた。

一 等
羅ふ手吹く手に勝ち抜く心
二 等
經濟戦主陣の腕から心から
わが家から敵が撃てるぞ經濟戦
佳 作
勝ち抜く戦費に負けるな貯蓄
切りつめる力が、止め刺す力
家庭でも戦へつゝ、ましく朗かに
きりつめよ今日から家から婦人
から

全島一齊婦人會
開催
六月二十一日から七月二十日
まで、米穀減價決戦貯蓄實踐運動
が展開せられたが、全島一齊に
婦人會を全島に設け、六月二十五日午後八
時から開き、決戦貯蓄、必勝
生活の實踐につき婦人の總躍進
を促し、多大の効果を挙げた。

紙芝居紹介
大日本
紙芝居協会の発行する紙芝居
「開演、二十一枚二枚」と
「開演、十六枚二枚」とは、
六月中に完成、本会では豫約購
入の需に應ずることとなつた。
本會本部の場合に限り、「開演一
母」一冊、二冊五十枚、「開演二
組」一冊、二冊五十枚、送料
及荷造は教育紙芝居協会で負擔
する。購入御希望の方は當本部
へ申込みあればおとりつきしま
す。

會演説
鐵道省長 鐵道省長は、
市川安次郎氏は、
鐵道に於ける鐵道省長
員の鐵道演説を實施さ

乳児の死亡率はなぜ高い

出産の習俗も 健民委員に期待す 改善の要あり

皇 奉中央本部生活部に於ては、先に昭和十八年度の健民指導大綱を發表したが、中でも健民指導者の養成に就て特に重點の注がれてゐることは、本島に於ける實状とにらみ合はせ、極めて重要なことと云はねばなるまい。大綱によれば、先づ區會、部會に健民指導者を置き、更に奉公班には男女各一名宛の健民委員を設け、既に本年七月末日までには委嘱を終り、健民運動のより強力なる推進をはかることとなつてゐる。

わ が國の本土に於ける總人口に對する開業醫の割合は千人に一人であるが、本島に於ては三千人に一人の割合であり、醫療施設は

と理解の上流家庭でなければ、出産に際して産婆を依頼しないこと云ふ。本島では出産のことが比較的安易に考へられてゐるので、先生媽と稱する取上婆に依頼するか、近隣の經驗ある老婦人に依頼して處置を施すのである。時には産婦自身で處置をなす者もあること云ふ。従つて消毒等

本島では出産のことが比較的安易に考へられてゐるので、先生媽と稱する取上婆に依頼するか、近隣の經驗ある老婦人に依頼して處置を施すのである。時には産婦自身で處置をなす者もあること云ふ。従つて消毒等

今回生活部が特にその點に重點を注いだ健民指導大綱を樹てたことは、極めて時宜を得たものと云ふべきである。ここでたゞ注意すべきことは、奉公班に於ける健民指導者の使命とするところは、あくまでも體力の向上と、保健知識の普及と徹底であり、醫療の技術的な面にまで立入れと云ふのではない。

保 健思想の普及と並行して取上げなければならぬ問題に習俗の改善がある。健民指導者は習俗改善にも深き關心をほらひ、民衆を啓蒙すべきだと思ふ。たゞ習俗の改善の如き重大なる問題は、最も慎重に、あくまでも現實に即し、行過ぎの如きことのない様に注意すべきであらう。

一 例を挙げれば、本島婦人は産後一月間を月内と稱し、この期間の食餌療法に就ては特に關心がはられてゐる様である。菜

商業人も新たな自覺

成果を 商奉 鍊 成會 収めた

先ごろ大政翼賛會傘下にある大日本商業奉公團の奉事松浦健蔵氏が、農林奉公會中央本部から招かれて講師として來島、皇奉傘下の商業奉公團の手で全島で鍊成會を開いたが、各地とも非常に大きな響きを與へたやうだ。企業整備による中小工業者の鍊成業については業者自らも眞摯にこの問題を考へて来た際として、進んで松浦講師の意見を聴かんとして引つ張られたこの形

我々が今日迄考へて来た商業思想と可成り大きな懸隔があり、根本的には正しければならぬことを悟り、非常に大きな收穫を得たと喜んでゐる。

我々は今日迄商行為は、唯自己の爲の業務であつて、國家と左程密接な關係にあるとは考へて來なかつたのは事實である。然し乍ら鍊成會に臨んで、國家の盛衰興亡を共にするのが我々の商行為と密接な關係に在ることとを聞かされ、深く響く所があつた。又企業整備に就て、現在の所十數年來の暖簾を死守し、鍊成に對し大きな想望を抱いてゐるが、鍊成が國家の要請

本島女子青年の胸を促し、女性の心身を鍛練すると共に家庭防衛、並びに軍事情力を付與するために、七月二十四日より三日間、本市在住の約〇〇名は、皇奉第五部隊に入隊した。教育科目は、救急隊の裝備法、築梯の登降、銃銃教練、機銃の效力、衛生法及救急法、馬の取扱、瓦斯に對する各個防護、短剣術の基本、銃隊作業として兵器被服の手入修理、營内淨化等、各方面にわたる、多大の成果を収めて除隊した。

麻油の入手は殆ど不可能だと云つてもよい。しかし胡麻油は單に食事のためばかりではなく、分挽の際に於ける斷屑等にも使用するので、絶対に缺くべからざるものと信じてゐる。従つて胡麻油の入手については手段を選ばず、そこに關する生ずるおそれもあるのである。

先 に歸還した第一回看

護助手等を健民指導員に依頼するののも一つの方法である。われわれはかうした眞に有爲な若い世代の人たちが、戦地で學び得た體験を生かし、民衆の中にとけ込んで、健民知識の徹底に挺身せんことを特に切望して止まないものである。



臺灣を背負ふ

青年の體格

施江南博士に訊く

昔から「體は赤いうちで打て」と言はれてゐる。私達は青年だ、若いのだ、といふはこりはいくら働いても疲れを知らずい

せ受する機会が與へられた。この無上の榮譽を戴いた私たちは募集開始以來僅か十日間にして二十八萬を越ゆる私たちの兄弟

即ち種痘を授け飛沫から撒き散らして、他人に傳染し得る恐ろしい病人は幾許あるかと言ふ

患者百三十萬人に掛けて通算して見るとその額實に九億五千九百萬人の尤大な数字になる

以上は大體、要點である。預防退治の、結核に大注意せねばならぬ病氣は「性病」である。昔から「カサケ

次に最も 本島青年の大切な「體格」に就て申すと、一般に體格で細長い傾向があるから、活動力は充分でないやうに思はれる。

第一に體重であるが、平均値をとつて見ると
内地青年 → 54.1kg
島内青年 → 53.79kg
島外青年 → 52.84kg
内地青年 → 50.71kg
島内青年 → 50.71kg
島外青年 → 50.39kg

するためには合理的な養分を摂り、當日頃規則的な生活を営んで、肉も柔道、角力や水泳など、體格方面にうんと力を注がねばならぬと思ふ。

次に胸圍であるが、前にならび平均値を出して見たら
内地青年 → 83.9cm
島内青年 → 83.61cm
島外青年 → 83.04cm
内地青年 → 82.77cm
島内青年 → 81.18cm
島外青年 → 80.71cm

明治天皇 御製日訓

故伴直 之助編輯の原本を基とし、宮内省蔵版の御集と對照、祝祭日、朔日、十五日、其他各種記念日等に按由深き御製を配列、再編輯したもので、現職勸業局長三宅正雄氏の手になる。氏が警察に職を奉じたる際、明治天皇の御盛徳を憶ひ、報恩志念に燃ゆる處より、日々奉讀録成の規模として、其旨、高雄の登

多く、しかもこれ等は積りに積る割合が多いことを銘記しておきたい。それで胸圍をもつと廣くするためには、農夫の如く鋤や鍬を操つて耕作作業に従事し、或は砲丸投げ、圓板投げなどのやうな投擲競技、或は角力、水泳、鐵棒懸垂運動など努めてやれば、めきめき大きくなつて来る。

戦争の経済学

戦争への經濟的感覚

現下の決戦段階下に於て私共國民の經濟生活を通じての戦争に対する感覺は、漸く深刻になつて参りましたが、之は當然のことであり、併しその消費は規正されても、主要食糧品を國內で自給し得る我國や、占領地で自足すること出来る獨逸は、基本的な生活に何等の不安無く、この點は海外から澤山の食糧品を輸入せねば、その需給の均衡のとれない英國などは全く較べものになりません。

唯、戦前の物資があり剩つてゐた時代から見れば、唯かに生活は豊かであ

六萬發、露西亞の十一萬發を全部射つても足らなかつた時が續いたと云はれま

農工業調整の問題
臺灣工業の育成は、時局の要請であると同時に六百五十萬國民の熱望であり、臺北帝大にも新たに工業部が来る十月より新設されて

片岡鐵兵著 山河一望 價二〇〇	大東亞戰爭勃發の女性の生き方、男の方面を切り開いて進む臺灣青年の奮闘を描く小説。 四ノ下についで進む臺灣青年の奮闘を描く小説。	シランベシ著 井野康彦譯 或る男の幸福 價一〇〇	四年の運命をローレルを思はせる現しき文壇に、自ら小説の自傳。はじめて掲げられた文壇の地。	熱帯の生活事典 價二〇〇	熱帯の生活文化の精華を衣食住に貫き通して、熱帯の生活文化の精華を衣食住に貫き通して、	新説小説 美しき闘志 價一八〇 沈黙の薔薇 價一八〇 消ゆる樂譜 價一七〇 東京の暦 價一八〇 花模様 價一七〇 女の一生 價二〇〇 知られざる軍隊 價二〇〇	美しき秩序 價一七〇 知られざる軍隊 價二〇〇
-----------------------	--	--------------------------------	--	-----------------	--	--	----------------------------

農業を亡ぼした著しい例は、英國であります。英國と雖も昔は立派な農業國でありましたが、十八世紀の末から十九世紀にかけての産業革命によつて工業が勃興した結果、いつの間にか農業は殆んど滅亡して、國內は工業家と賃銀労働者と金貸と商人が幅をきかすやうになつて仕舞つた。そのため第一次大戦にも食糧に相當に苦しんだが、今度はそれ以上に苦しんで居るのです。

豊原の瑞穂國である我が日本には、決して左様なことは無かつたが、それでも明治以來工業の勃興に農業は相當に壓迫され、又最近では工場が地方分散によつても若干農業に影響するところがあると云はれて居ります。

業を護るの餘り工業の勃興を妨けてはならぬ。即ち農業は農業として立派に存在せしめて工業も亦同時に旺ならしめる、といふことを考へねばならないのであつて、東亞經濟協會臺灣委員會や東亞農業研究所等がこの問題を取上げて過般來頻りに研究を進めてゐるの、是に賛同と申さねばなりません。

工業と農地 勞力の關係

斯様にして之等の兩團體は、先月三日農工業調整問題の懇談會を開き、官民各方面の關係者や大學教授などの意見を聴きました。その細目の問題は臺灣工業の見直し、臺灣農地の見直し等から、工業と農地との關係、工業化と勞働との關係、工業化に伴ふ農業上の實害、工業化に伴ふ農村社

會の變遷、工業化による農業組織の變化、生産物による農業の調整等でありました。併し工業化に伴ふ農業上の實害、以下の諸問題は、まだ將來のことであり、差當つては農地との關係や勞力との關係について見直しをつけ、萬全の對策を講じなければなりません。

農地との關係といふのは、こゝに一つ工場が出来ると單に工場敷地として農地が削り取られるばかりで無く、澤山の従業員の住宅やその他ものゝ建て、更に耕地を護らねばならず、それが大きなものになると立派な都市に變貌する場合もあり

て、農業生産力が低下しやしないかといふのが工業と勞力との關係であり、ま

けれども臺灣農村は、内地の農家一戸當り一町一反位の耕地反別に對し、約二倍の耕地を持つて居り、然も熱と光に恵まれて耕地そのものに豊かな生産力を持つて居るの、少くも工業に土地を分けても大した影響はない。又勞力の點でも、臺灣農村には尙相當の過剩勞力を持つて居るの、之亦著しい

強力

12 腸胃と養榮

リポタン錠

Vitamin B1 含有量 100% 以上

100% 以上

甘蔗作付の面積決定

昭和十九、二十年期の甘蔗作付面積は、この程高雄州下の一部を残して決定し

ましたが、之によると全體で十四萬九千六百甲歩減つたと傳へられました。但し作付面積に比すれば大差無いと云はれますが、孰れにしても若干は減つて居るでせう。

然らば、なぜかうなつたかといふと、それは全體の食糧政策から見て、米その他の重要作物の増産を必要とするからです。南方共榮團内には米を豊富に産するところが深山あり、之を輸入すれば日本國民の食糧は密しも心配はありませんが、その輸入する船腹はいま最も貴重なるものとなつて居る。米などの輸送に當つて居られないのです。即ち、南方で米の悪鬼どもと激闘又激闘、死闘又死闘を續けて居る忠勇な我が將兵に、彈薬や糧食を豊富に送る船を割いて、銃後國民が腹一杯飯を食ふために之を使ふ

ことは出来ないのです。さりとて、戦力の増強には銃後の食糧も大切であり、結局之を國內に於て出来るだけ多く生産し、以て自給自足の途を講じなければならぬのであります。

そこで今同、甘蔗植付の面積を多少犠牲にしても、米その他の重要作物の増産に努めることになつたので、それがそれだからと云つて甘蔗を輕視したのではありません。甘蔗は甘蔗として重要な食糧の一つである、も、之により血の一滴々々にも比すべき貴重な燃料が作られるのでありまして、輕視どころか益々重視されて居るのです。故に、この與へられた面積の中から最高限度砂糖の收穫をあげるべく、所謂立體増産を目ざして島内の農民は挺身せねばなりません。

物資配給の諸問題

七月十二日に開かれた皇民奉公會中央參與、委員の全體會議に出席された諸問題は、主要食糧品の増産、物資配給の二件でありました。前者は兎も角として後者には、傾聴すべき意見もあると、私共の肯定し兼ねる議論もありました。

それは例へば、物資の配給を公平にせよといふやうな論旨でありますが、申す迄も無くこの場合の「公平」といふことは、均等といふことを意味します。併し、均等といふことは確かに公平ではあります。必ずしも「公正」ではありません。茲に酒の配給があり、それを誰にも均等にすると、呑み助のオヤヂも五歳か七歳の兒童にも同じ量と與へる

ことになりませんが、之は公平、均等であつても決して公正では無いのです。何故ならば、均等にすれば結果は斯様な兒童に酒を飲ませることによつて實害を伴ふからです。そこで、酒を要する人に之を配給し、要せぬ人には配給を控へる、之が即ち「公正」であります。いま島内では、同じ物資でも之を消費して居らなかつたもの消費して居らなかつたもの、極めて少量を消費して居るもの等生活程度や慣習に應じて千差萬別であります。之に同量の物資を配給するのは公平であつても、公正ではありません。この點は冷静に考へる必要があります。

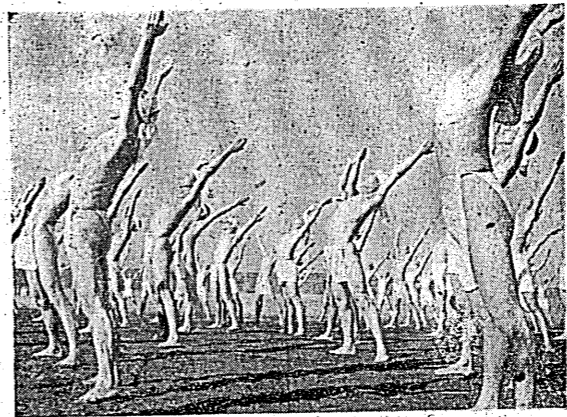
又、配給を受けるのを權利だと考へる向もあるやうですが、決して權利ではありませぬ。この大戦中下にも拘らず物資を消費させて

買ふ國家の恩恵なのであります。平生菓子を買つたことのない内地の某農村で、菓子配給切符を返上したなどの例は、冷たい權利觀念からは出ない行為なので

權利と考へると個々の自由と考へ、それが間に流れて間の物價を作り、總て敗戦の原因たるインフレーションにするのですが、寔に恐ろしいことではありませぬか。(大久保金藏)

高砂義勇隊 本書は去

杉崎英信著 七年十月



泳水と年青島本

「水鬼何ぞ恐れん」

渺々たる太平洋の彼方には、今我等が全力を懸けて駆逐しつゝあるあの米國がある。今我等に打撃せる感情もかつては米國の岸を洗つた波であつたかも知れぬ。しかも太平洋の南には、

毎日死闘が繰返され、北の方でもまた激戦が續けられてゐる。四面を海に圍まれた臺灣の青年達はこの海を何と見てゐるだらうか。去る五月十二日海軍志願兵の

制服が布かれ、七月一日より頗るの受附が開始された。我が臺灣の青年達も敵を海に立上る時が来たのだ。海軍志願兵に採用されたら、訓練所に入つて訓練を受けるのである。その中に特に海軍として重要な教練の一つに水泳がある。しかし残念なことに、臺灣の青年で水泳に造るものゝは僅く、殆ど殆ど不能者であるといつてもよい。之は本島青年の體格が水泳に不適なものでなく、あまりにも、海や河を恐れすぎたからではなからうか。

昔から臺灣の人の連の間に、は根強く伝へてある迷信がある。北部の雨季がすむと、南部に猛烈な雨季が来る。その雨がしまひには風まで招んで、つひには、大暴風雨となることがある。さうした後で、水鬼(ツイタイ)の噂がどこからともなく起つて来る。何かが水から聞こえて来る。何か水音がする。その夜から水鬼が泣くといふ。人間が水死するとその霊が水鬼になりつて生きた人間を襲ひ、身替りして自分は人間をおかきで極楽の門を開いて浄土へ行かうと云ふのであるが、なかなかこの身替りは、簡単にあるわけがない。さらばと云つて歸つて仕舞へば三年間は水の中にゐられるが、そのうちに地獄の門が開いて、厭でもそこへ入らねばならぬ。それで水死人の魂が泣く。身替りが欲しい。浮ばれぬと水鬼になつて夜となく泣きとなく泣くといふのである。しかも水鬼の中には夜中のこゝろ、水から這ひ出して来て、人を水中に腹ひ込み、自分自身をまんと極楽の門へ飛び込んでしまふ奴があるといふ。だから水鬼は怖ろしい。又池や川へ行くとき水鬼が待つてゐるからそばへ寄ると云ふのである。地方に行くとき水邊に南無阿彌陀佛の碑があつたり、最近近郊に一種の短艇(短艇)が行はれたのは、この水鬼に對する施儀(おまげ)である。こんな話で地方の宗教が結びついて迷信となり、今だに眞實に水鬼が居ると信じてゐる人達が想像以上に多いのである。この水鬼の話が現代の青少年達の頭にこびりついてゐる。お親さんや、お祖母さん等から話して聞かされたこれらの怪談が、頭に沁み込んたのである。水を怖れ、海を恐ろしく思ふのである。

大體に於て、本島青年の體格は水泳に不適である。本島青年には體格で背の高い者が多く、所謂肥體(肥體)のものが割合に少ない。この肥體型の人達は少し急激な運動をすると呼吸を切らして多量に汗をかく。こんな青年は適度の運動をして筋肉を引締め、がっちりした理想型に又附せてひよ／＼した青年はがっちりした身軀にするには水泳が一番よいのである。水泳は全身運動であるから、脂肪太りの者は急激にやらず、少しづつやつてゐる中に身軀が段々緊つて行く、よく自分の身軀に適當した程度で、三個月もすれば脂肪型、榮養不良型等は同じ様な理想型になつて行く。胸は廣く心臓は強く、殊に皮膚の色は眞の赤銅色になり、見るから健康そのものの深な身軀になる。斯く本島青年の體格は鍛へることによつて非常によくなるのである。

陸、海軍志願兵の制度が本島に布かれてから、臺灣青年の體格は益々壯健になつて行くであらうが、その最も近路として、精神的にも肉體的にも容易に入り易く、その効果の直接的なのは水泳である。海軍で水泳

が重要な訓練科目になつてゐるのは、水泳が洗滌、散開の精神と忍耐力を養ふのに最も適當なものである點に目標が置かれてゐるからである。次に皇民奉公會の海洋訓練隊に入隊して三個月間肉體的には水泳、陸操、短艇操縦等に鍛へられ、眞に皇國青年としての自覺、散開精神と忍耐力の涵養に練られた本島青年の感想を聞いて見よう。

【李英文】私は四月に訓練隊に入隊して三個月、今回終了最近特に著しい現象として、われわれを感激せしめてゐるものに、驟然として起ち上つた本島青年の姿がある。殊に南方諸地域の占領地にあつて建設戦に協力したり、あるひは勞務奉公隊員として第一線の皇軍將士と勞苦を共にしてゐる本島青年の活躍ぶり、如何にめざましいものであるか、これらの點からあらゆる方面に於て本島青年を見直せる程が高い。その一例として、最近ある方面にもたらされた現地のより

して船員として配置される事になり、試験を受けに行きました。處、所長から私の態度及體格を非常にほめて戴きました。それも訓練の賜とつくづく有難く思ひました。入隊前は毎日不規則な生活で、少しの仕事をするとならなかつた。呼吸は急ぎ急ぎなるので、大隊當時は一時どうなるかと心配してゐましたが入隊以來、水泳、陸操、短艇の諸訓練及び精神講話、水産等の知識を得、ひたすら訓練に臨んだ甲斐あつて、入隊前に比べて體格がよくなりました。

【羅進財】僕は小さい時から軍は三挺重く、胸圍二種、身長も二種短びました。呼吸も強くなり、腕力も人に負けない様に強くなりました。私はこの身體を皇國の爲めに捧げ、職能を通じて御奉仕出来ると思ふと嬉しくてなりません。

【羅進財】僕は小さい時から軍は三挺重く、胸圍二種、身長も二種短びました。呼吸も強くなり、腕力も人に負けない様に強くなりました。私はこの身體を皇國の爲めに捧げ、職能を通じて御奉仕出来ると思ふと嬉しくてなりません。

【羅進財】僕は小さい時から軍は三挺重く、胸圍二種、身長も二種短びました。呼吸も強くなり、腕力も人に負けない様に強くなりました。私はこの身體を皇國の爲めに捧げ、職能を通じて御奉仕出来ると思ふと嬉しくてなりません。

【羅進財】僕は小さい時から軍は三挺重く、胸圍二種、身長も二種短びました。呼吸も強くなり、腕力も人に負けない様に強くなりました。私はこの身體を皇國の爲めに捧げ、職能を通じて御奉仕出来ると思ふと嬉しくてなりません。

南方に活かす鍊成の成果 臺灣青年、ここに在り

親しく現地軍司令官より直接訓練を受けた程だと云ふ。かう云ふことは未だかつてなかつたことであり、如何に本島青年がよく健闘してゐるかを物語るものであると思ふ。

【羅進財】僕は小さい時から軍は三挺重く、胸圍二種、身長も二種短びました。呼吸も強くなり、腕力も人に負けない様に強くなりました。私はこの身體を皇國の爲めに捧げ、職能を通じて御奉仕出来ると思ふと嬉しくてなりません。

【羅進財】僕は小さい時から軍は三挺重く、胸圍二種、身長も二種短びました。呼吸も強くなり、腕力も人に負けない様に強くなりました。私はこの身體を皇國の爲めに捧げ、職能を通じて御奉仕出来ると思ふと嬉しくてなりません。

【羅進財】僕は小さい時から軍は三挺重く、胸圍二種、身長も二種短びました。呼吸も強くなり、腕力も人に負けない様に強くなりました。私はこの身體を皇國の爲めに捧げ、職能を通じて御奉仕出来ると思ふと嬉しくてなりません。

【羅進財】僕は小さい時から軍は三挺重く、胸圍二種、身長も二種短びました。呼吸も強くなり、腕力も人に負けない様に強くなりました。私はこの身體を皇國の爲めに捧げ、職能を通じて御奉仕出来ると思ふと嬉しくてなりません。

新建設回覧板

常会申合事項 八月

一、決戦増産を實踐して示させよう

もう理窟や文句を言つてゐる時ではありません。口を開く間にも手を動かして増産のため働かねばならぬのです。敵米英は、撃つても撃つても次から次と必死になつて向つて来ます。

この戦争は魂と物の戦です。我國は魂の方では何處の國にも負けず必勝不敗であります。が物の點では必ずしも然うとは云へません。米英は物の量を持って、損失も犠牲も構はず遮二無二やつて来てゐます。物を待たず反撃して来る米英に對し、我も亦物を山と積んで戦力を強め、到る處で徹底的に頑敵を叩き潰すことは、今後絶対に必要なことです。そこで私共は、決戦増産を以て實踐し、之を事實の上で見せるやうに致しませう。臺灣での決戦増産は次の様なものです。

1. 主要食糧たる米、甘藷の外、地方事情により、小麦、落花生その他の雜穀等を増産すること。
2. 栽培上の技術改善や工夫創意に力を致すこと、即ち深耕、正條密植、中耕除草、害蟲驅除等官廳

通上

自作農創設

最近農村に於て所有耕地を他へ轉賣して、その金手を以て營利事業に投資する傾向が見られますが、愛地愛農の精神が後却せられたつあることは遺憾にたへません。その対策として特に農村に自作農奨励機關として自作農組合を創設し、農民生産資金の融通を図ること如何でせうか。(新潟県分會)

〔回答〕 文意不明な箇所もありませんが、農組等に於て自作農創設事業を實施することを主張せられるものと解せられます。もし然りとすれば、これに

對するお答へとしては、小作農をして農地に安定せしめ、愛地愛農の精神を昂揚し、戦時下農産物増産に専心せしむること、本島農政上の基本施設であります。しかしこの事業を實施するには多額の低利資金を要するの、政府に於て實施すべき事業を、本島農政の健全な進歩又は政府の政策への適當低利資金の一部を割いて本事業を實施しても、その効果は認め難いと思ひます。しかも本島人の財産相續は分頭相續制で、政府の施設により折角自作農を創設し得たとしても、次の世代に於てはこれが崩壊のおそれがあり、要するに自作農の維持創設施設を實施するについては、更に研究調査とその用意を必要とするのであります。(殖産局)

客車内の混雑

○工場、田畑に、鎮山に、海に、今全島駆けつけて増産に挺身してゐる折柄、最近各縣の乗降客は非常に多くなり、客車内も混雑を極めておりますが、さうした中で、非番の鐵道常務員中、怒々と客席に坐つたまま、

トラホーム対策

○去る一月二十四、五、六の三日間にわたつて施行せられた臺灣陸軍特別志願兵身體検査の状況を見るにトラホーム患者はその過半を占めており、これは國民保健上甚だ遺憾に思ひます。治療所の増設方に就て當局の御配慮をお願いいたします。(大國庫分會)

投稿規約

〔短歌〕 △選者 國語正治氏△官報はつき枝へ 三頁附録△投稿 毎月一日(翌月號に發表)△送先 臺北市新公館内、皇民奉公會中央本部新設編輯室(俳句)△選者 山本幸江氏△官報はつき枝へ五句録△その地は短歌と同じ

一、心身の錬磨に努めませう

戦争に勝つためには國民の一人一人が意思も固く體力も強くなくてはなりません。八月は酷暑期ですが暑いななど云つては居られませぬ。是非とも不屈不撓の精神を益々錬磨し、あらゆる困苦缺乏をも突破して進み敢闘精神に燃え上らねばなりません。

1. 皆氷運動 皇民奉公會では國民皆氷運動を展開し皆氷の趣になることを希望して居ます。
2. ラジオ体操の會 八月一日から二十日間「全島で皆集つて實行いたしませう」
3. 職場錬成 職場々々では仕事に妨げにならない様夫々計畫を樹て指導者の下に歩調を揃へて心身の錬磨に努めませう。

短歌・俳句募集

不敗の信念に燃え立つ決戦下臺灣の意氣を反映する短歌、及び俳句を廣く一般より募集し、九月より本誌に掲載することにいたしました。選考に當り、軍人、農組、常會等その取材の如何をとはす、胸にひそむ愛國のさけびを三十一文字

奉公手帖

一總て、戦争を以て、都市と農村では言つても都市と農村では自ら行き方が異なる。▲都市の奉公班は何と言つても配給の圓滑といふことが其の性格から見て考へられる。そこで今後の都市に於ける奉公班は、奉公班自體が常に新しい創意と工夫を以て、一日も早く配給制度の「よき確立」を遂げ、決戦こそつて突入する。▲農村に於ける奉公班の課題は、一應ハツキリし過ぎる程ハツキリして



四

さきほど検屍の結果、林英茂は他殺であるかもしれないといふ嫌疑が生じた。そのため、矢崎千里教授はじめ数名の本島人學生が警察署に連行されたほか、アパートの管理人、女中、林英茂の隣室の男など参考人として取調べを受けなければならなかつた。

こんな事件には何の関係もない自分かわざわざ引張り出されて取調べを受けるなど迷惑なはずだ、それだけ内心不服に感じつつも、あれこれと隙間を受けているうちに、なんだか係官がこの自分を容疑者にみなしてゐるのではないかしらんなどと、あらぬ不安にふと捉はれたりするのであつた。或はまた、これら同行した人間たちのなかには、事件に本當に關係のある者や真相を知つてゐる者がゐるのではないかと、或はさらに、思ひがけなく恐ろしい犯人自身が潜んでゐるのではないかと、ふやうな、かすかに好奇を混へた疑心を起しては、あわてて打消したりするであつた。

ないではゐられなかつた。事實さうであつた。いざ審理をはじめてみると、問題は決してそれほど錯綜したものでもなく、いはゆる謎の事件迷宮裡に入る、といつた三篇記事的な事件とは全然性質を異にしてゐるのであつた。何者か金を盗みに押入つた際の殺害かもしれないと一應疑はれたけれども、百圓ほど入つた財布は机の抽出にそのままになつてゐたし、その他の品々も引掻き廻したあとも全然なかつた。第一、少し冷静に考へれば、犯人であらうが誰であらうか、部屋に入つたはずはないのである。なぜなら、本人の死の最初の発見者である江秋火は合鍵を借りて部屋に入つたので、北向きの窓の鏡も内側からしつかりとかがつてゐて、けつきよく出口はどこにもないからである。それからまた、大勢の参考人のすべてに、現場不在證明が成り立つてゐた。ともかく他殺でないことは、たやすく分るなればならなかつた。検屍の結果頭部に鈍器を以て毆打せる痕跡ありと認められたのも、他人から受けた傷害ではなく、劇薬を服用し苦悶の

末、自ら頭を柱にぶちつけたのであらうといふ結論に達した。も早や自殺は紛れもない事實であつた。矢崎千里教授の陳述によると、林英茂は一週間前から無届缺席をしてゐた。かういふことは彼として實にめづらしいことだ、これまでは意図して學校を休むといふことは一度もなく、遅刻することさへない、眞面目すぎるぐらゐる眞面目な學生だつた。それが、無断で一週間も教室へ顔を出さないので、不思議に思ひもつと、氣懸りになつてゐたところへ、この不幸の報らせを受けたのである。尤も、考へてみると二三ヶ月前からどうもなし元氣のない様子にみえてはゐた。どうしたのだと訊くと、何でもありません。論文に一生懸命なものですから、とのみ答へた。やはり勉強で疲れてゐるのだらうと、それにつきり教授もべつ心配しないであつたが、かういふことになつてみると、彼の勉強はよほど激しかつたものと思はれる。それにまた、このことには一身上の問題も絡んでゐるのではないか。だらうか。彼は在學中つと首席で通し、教授が近年扱つた教へ子のう

ちでも最も優秀な學生として、大いに將來に期待をかけられてゐた。そして、卒業後はぜひ學校に残して、行くゆくは同大學の歴史科の教授にすめたい意向を矢崎先生は持つてゐたのである。本人も當然そのつもりであるものとばかり思つてゐた。さういふ張合ひがなくては、あれほど熱心な勉學はだうして考へられなかつたであつた。ところが、卒業前の新學期になつて、林は學校に残れないと急に云ひ出した。教授もちよつと意外であつたが、理由を訊けばそれも止むをえないことだつた。林はたつた一人の男の子で他のきやうだいはみんな女なので、臺灣の両親は自分が卒業後東京にとどまることをどうしても許さないと云ふのである。期待してゐた教授はすくなくらすガツカリしたが、當人にしてみればそれどころでなく失望落胆したことであらう。いかに惜しいことでもあり、彼に對しては氣の毒なことでもあつた。けれど、さういふ家庭事情なら仕方ないので、ほかのこととちがつて學問はどこのでも出来るよ。偉大な學問は却つて静か

るのかね?」彼の精神の混乱は當然なことであつた。いくら學問が好きでも、いくらか勉強に熱心でも、もたらす結果はそれとはすこしも縁がなく、いつかは臺灣の田舎にかへつて、田夫野人の交りに生涯を終らなければならぬ境遇にあつたのだ。父はよもか理解があつたけれども、無智で大量な母には學問に對する息子の情熱を察することなど不可能だつた。母は生みの親ではなかつた。英茂の生母は彼の満月(生後一箇月)も迎へないうちにふとした病氣がもとで亡くなつてしまつた。そのあとに來た母林氏好は次々に四人も女の子を生んだが、ついに男子は授けられなかつた。英茂は掛替へのない家の後継ぎとなつた。後妻の好は英茂をひどく可愛かつた。生後間もなくからわが手にかけて育てたので腹をいためた子も同様だ、といふばかりではなかつた。その男の子は母好の心の空虚を埋めるには、なくてはならなかつたのであつた。林文彬と好とはどうしても打ち融けない、しじゅう唾み合つてゐる夫婦だつた。どちら

が悪いといふわけではなく、いはばうまの合はない同志なのであらうが、強ひて原因を求めれば夫文彬が先妻があまりいい女だったのといつても忘れかねてゐるのがある。夫がそれを押し隠せば隠すほど、後妻の好にはその内心がよく見て取れて面白くなかつたのである。かういふ場合、世間の例からすれば、先妻の子を憎みこそすれ、それほど熱愛するなどといふことはあつたらしいことである。けれども、好は夫との間が不和で冷たければ、それだけ充されぬ孤獨な気持の慰めを息子英茂にもとめていくのであつた。そして、夫からも出来るだけ息子を引離して、獨りよと努めた。それは一種復讐的な感情も伴つてゐたやうである。たとへばさうだとしても、その第二の母が自分を眞實可愛がつてゐること、實子である娘達と同じやうに、或はそれ以上に愛してゐる事實を英茂は疑ふことは出来なかつた。それに、優しくして柔順な親孝行の彼自身もまた親に愛される値打ちも充分にあつたのである。

れ、子供時分からあどけない可愛い顔をしていたが長するに及んでいよいよ眉目秀麗な立派な青年になつたので、母好の息子に對する愛着はいつさう深くなつていつた。そんなわけで、好は息子を遠く東京の學校に出すのははじめから喜ばず、上の學校へいきたいなら臺北には高等學校も大學もあるではないか、何を好んでわざわざ遠い内地まで出かけるければならないのかと極力反對したものであつた。けれども、父文彬にはもつと深い親心があつた。當時まだ多少ともXの傾向が残つてゐた官立大學に入れることは、頭腦が明晰であるだけ息子のために危険であり、かつて農民運動に關係した自分の轍を踏まざらないと考へわざわざ東京の私立大學へ入れたのであつた。

さう云はれてみれば、可愛い息子の將來のために仕方ないと思つた。母はつらい思ひで東京に出してやつた。そして、年一度か二度の息子の歸省をいつも待ち切れないうでゐるのだった。いざ歸つたとなつて、若様の御膳宅とはかり、家を綺麗に掃除するやら正廳の掃除に灯をともしやら、豚や鶏をつぶして御馳走をつくるやら、端の目にも馬鹿けたほど騒ぎだつたのであつた。そんなふうであつたから、英茂が大學卒業後すこしでもぐつ／＼内地にとどまつてゐることは、母好には堪らないことだつた。ましてや、大學の教室に残り、將來親子が遠く離れて別々に暮らすなどといふことは、考へただけで身顛ひした。

さうと知りつつ、英茂は思ひ切つて一度重鎮にそのことを母に相談したことがあつた。果して母好は一言のもとにそれを撥ねつけたばかりでなく、けふまで私はどんなに大事にお前を慈しみ育てて来たか、だのに親を捨てて遠くで暮らすやうとは、いふたういふ量見なのだ、そんな親不孝者とはいふまでもない。知らなかつた。ああ何の慈も望みもなかつた。あんなに信じてゐた一人の息子が、さうして、信じてゐたとは、世の中には神も佛もない、そればかりか、卒業後はすぐ歸つて来て、あなたと一緒に同じ屋根の下に住み同じ食卓で箸をとりませうと云つて母を慰めた。

一方、前にも述べたやうに、學校では彼はつねに優秀な成績で、將來の學徒として大いに囑目されてゐた。かうして彼はたえず、自己の方針と母親の希望との間に板挟みになつて苦しんでゐた。何でもてきぱきやつけてしまはないと氣の済まない江秋火は、そばからそれをみて、嫌厭して仕方がなかつた。

「そんな母親」と云つちや失禮だけれどとにかく養理の間だらう。何もさう氣兼ねることはないぢやないか。自分の思ふ通りをやらばいいんぢやないか。小さい足ぢや内地まで追ひかけて来もしないだらうよ。一時は親不孝だの眞切りのと云はれても、なかに時が経てばいいやうに治るさ。それに君、かう云ふのも失禮だが、とにかく命の順序で亡くなるのが人間の法則でもあるしね。」

けれども、林英茂の母好に對する氣持は、單に養理上の氣兼ねといふものではなく、母に對する深い同情

であり、自分のない彼女は命を半分もぎとられたも同じだといふことをよく知つてゐるのである。

「それなら……」と秋火はまた云ふのである。

「それなら、よろしく學を捨てて、恬然として歸郷に歸るべきだ。臺中州豊原郡の田園にね。そして大いに村のために働くんだ。臺灣を愛する道として、僕はむしろこの道を賛成したい氣持だ。しかし、いつれにしても、人間は一つの自己に忠實であるべきだと思ふ。二つの自己に仕へることなんか誰にも出来やしないんだから。」

折があることに二人は、このことについて話し合つた。話し合ひながら、いつの間にか英茂の個人的な悩みから逸れて、この人生に生きる道や大いなる轉機期にある國家社會に

處すべき方法などについての議論に飛躍してしまふのが常だつた。そして、最後にまた英茂の一身上の問題に舞ひ戻るのであるが、いくら頭を振つてみても、それは本人の決断による以外どうすることも出来ないことだつた。

かうして、どつちつかすのうちに、月日が経ち年を重ねてゐるうちに、たうとう卒業が迫つて来ると、こんどこそ、いよいよ否應なしにはつきり態度を決めないわけにはいかなかつた。

前年の秋ごろであつた。「臺灣に歸ること、いよいよ決めたよ。卒業すると直ぐに、永いことともだちだした氣持で来たが、さう決めてしまふと實にサバ／＼した感じだ。」と秋火にむかつて決心のほどを示した時の英茂の顔付にはたしかに、儼然とした、明るい輝きがあつたので、秋火もわが事のやうにホツと重荷を降した氣持であつた。

「さうか、そりやよかつた。大いにいいね。これは一つ祝杯をあげる価値は充分あるぞ。」

友人のために眞實嬉しくなつて、江秋火はその夜、彼を外へ引張り出した。英茂自身も永年の宿病が癒へたといつたやうな、せいせいした感で、平常飲めない酒もその夜はビールを五六杯もやつけた。

それで萬事皆善がついたものと秋火は思ひ込んだ。ところが、そのことがあつてから、彼の様子に不思議な衰へがみえはじめたのは、さらに、何事であらう。そのころからであつた、いつさう憔悴なまでに勉強をはじめたのは。

もはや學問の道を捨て、將來約束された大學教授の地位も擲つたいまとなつて、何ゆるの勉強であるか。江秋火は彼の性格をよく知つてゐるが、不思議でならなかつた。彼英茂に較べて、自分の周囲にみるこのごろの學生はどうであらう。どうせ兵隊になれば、何も彼も忘れてしまふのだ。なにをフウフウ云ひながら苦しんで勉強する必要があるのだ。或は戦場の華と散るかもしれない。さうすれば、すべての知識も學問も忘却の河へと流れ去るのだ。だから、せむせる及策動だけはどり學校を卒業出来さへすればよい。あとはなるべく要領よく遊んで東の間の青春を愉しむことだ。

かういふ安易な考へに陥つてゐる學生もかなりある。この投道りな頹廢的な精神を秋火はすこしも認め

下痢腸カタル……エキゾラン錠



てなかつたにもかかはらず、戦場には出ないがそれら学生と事情が似てゐる。しかも彼らとは反対にひたむきに勉學に身を打ちこんでゐる林英茂の姿をみると、健康のことを心配する一方には、そんな無駄な勉強は止して、もつとのんきに面白く遊んだらどうかとやや揶揄的に警告するのだった。

けれども、英茂の異様に張りつめた心の紐は、ちよつとやそつとのことでは弛みさうにもなかつた。彼は云ふのである。

「兵隊になる。そして戦死を覚悟する。だからこそ貴重ないまのうちをうんと勉強して真理を探究しなければならぬ。僕ならさう考へる。君はさうは思はんのか。」

さうして彼は、残る学生生活の半年を日夜勉學研鑽に費して有終の美を成さうと努めてゐる。英茂でなけ



れば出来ない着實な態度だつた。けれども、一面それは、絶望の氣持から生じた異様な物狂はしさ——やがては消えるべき宿命を前にし

て、白熱的にバツと燃えた最後の火花の閃ではなかつたらうか。はつきりと決心をつけてせいせいしたと云ひ、祝杯まであけたあの夜

のことがあつてから後、江秋火が、臺灣の家へ歸つたら、君はどういふことをやつていくつもりだ」と訊くと、英茂はなんとなし自嘲的に云ふのであつた。

「辛や葉つ葉を作るよ。そのほかいろいろな仕事があるだらう。歸ればこれでも村の頭役だらうからね。そのうち庄長さんにもでも祭り上げられるかしれんよ。……さうさう思ひ出した。いつか君と一緒に觀にいつた『舞踏會の手帖』といふ映画ね。あのなかへ出て来る村長さん……あれは實に愉快だな」

それからまた云つた。

「僕は臺灣へ歸るとすぐ結婚しなくちやならないんだ。親がもうちやんとお嫁さんを決めてゐるんださうだ。手廻しがいい。新竹のさる相當の家の娘さんだ」

「そりやおお芽出度いなね」「ね秋火、結婚するとすぐ子供が出来たらうね」「そりや當り前ぢやないか」「さうかね。すると次から次とさうよ出来る。たいへんだな」「結構ぢやないか。多子多福だ」「でも、なんだか僕は滑稽で堪らないのさ、そんなことを考へてみるね」

以上のやうな態度や口振りは、その時はそれほどにも思はなかつたが、いまにして考へてみると、ずぶん無希望な葉つ葉の現れであつたのだ。けつきよく、彼の心はずこしも定まつてはなかつたのだ。断然として男らしくあつた一度は方針を決め自分でも確かにそのつもりでなから、やはり依然として事は未解決のまま、右往左往に彼の精神を搖さぶつて歇まなかつたのであらう。さうかうするうちに卒業は一日一日と迫つて来る。臺灣の郷里には自分無しには生きていけないといふ母が待つてゐる。しかも嫁までもう決められてしまつた。かうして、彼は滑稽無慈悲な鬼に責め苛まれ

る人のやうに、際限なく追ひ詰められたあげくに、たうとう誰ももう追ひかけて来ない遙か遠いところへ逝け去つてしまつたのであつた。

五

矢崎教授の陳述及び江秋火の詳しい事情の説明、それに数名の参考人たちが聴取した事柄を綜合してみて、もはや自殺は間違ひないことである。その原因も、秋火の申述べた事實によるものと推定された。かうして審理は案外簡単に終つたが、もともとさうあるべき性質の事件でしなかつたのだ。それが最初などなく深刻な問題でもあつたやうな様子にみえたのは、他殺の疑ひが生じたことからのみではなく、死んだ本人もその周囲の者も臺灣本島人であるところから、思想、防護方面の重大な時節柄、その筋ではいささか神経を失つた結果であらうと思はれる。

しかし、林英茂に限つて、そんな忌はしい關係などはじめから考へることも出来なかつた。また著に同行された學生達にしても、それほど非

國民的疑ひを受ける人間は一人もなはいはずであり、事實、調べに當つてみると、何らその必要のないことが著のほうにもすぐ分つた。

それでとくに面倒も起らずに事は済んだが、何事もなかつただけに取調べを受けた者のほうではちよつと間の抜けた感じだつたばかりでなく、どうもつまらない目を見たと思ふのである。林英茂の死を悼みに驅けつけて来ただけのつもりが、意外な事にひつかり、その筋から身元を調べられるやら私事までほじくり出されるやら、とんだ迷惑を蒙つたものだ、内心少々不愉快な氣持だつた。しかし、警察側から云へば、事に當つて一々個人の感情まで顧慮してゐたら、何も出来るものではな

臺南市……海産物問屋次男。多少面長にして、健康的な紅みを帯ぶ。顔骨や高く、鼻の高中等眼は大ならざるも、生き生きとしてやや鋭い光あり、全體の感じとして、何か怒つたやうな、闊太いやうな、無愛想な容貌。但し微笑の際、左の口邊にポツチリと唇の生ずるは、ちよつと意外であり、唯一の愛嬌と云ふところなり。

體格中肉中骨なるも、上體の發達よく、全體的にがっちり引締まり、弾力ある機敏な肉體感を有す。

故人と最も深き親交あり。現場最初の発見者(詳細略)。

言語表現、率直明瞭なるも、やや無遠慮、抗爭的な口吻あり。思想關係なし。

林春和——二十六歳。××大學經濟科一年。現住所、杉並區……。

高雄市……郵船會社社員長男。妻錦紋との間に一男一女あり。妻子同伴上京留學中。徐氏彩蓮は妻錦紋の實妹に當る。

瘦せ型。白智の整ひたる容貌。度の低い眼鏡。妻子ありとはいへ、學生の分際にて背廣著用は芳しからず。

楊石旺との交遊親密。學生として堅實性を缺くも、思想その他の關係に疑問なし。

故人との親密程度はさほど深からざるも、所属大學を同じくすることから、顔を合せると機會多かりしと云ふ。

本人が故人に會つた最後の日は三週間前、同大學校庭。その際の立語に故人は本人に向つて「君は経験者だからよく知つてゐるだらうが、二晩結婚してどんなものだらうなどと、唐突に妙なことを訊けり。それがどこなし不真面目な、からかひ半分の態度なれば、日常謹嚴なる彼にして、これはどうしたことかと、ちよつと不思議に思ひしと云ふ。

楊石旺——二十六歳。××大學經濟科一年。現住所、四谷區……。

臺北市……綿布卸商長男。兩親死亡により現在戸主。楊氏梨花とは異母兄妹。

やや肥満型。色は淺黒いが、極く圓滿なる相貌。言語動作如才なし。但し卒業は二年も遅れてゐる。理由は病氣休學に依ると稱するも、九々とした體付は病氣などさうもない様子なり。思想その他の關係なし。

故人との交遊關係稀薄なるも、生前故人に宛てたる一通の書信を見ざる。その文面中妹梨花に云ひ及びたる一節あり。

「他から聞くと、貴兄は卒業後直ちに臺中に歸られる由、貴兄の才能と篤學を思ふと誠に残念。愚妹梨花も同様。大學教授の與さま……などは梨花一朝の夢といふところですね。呵々。これは冗談。云々。」

故に故人と妹梨花との關係を亂すに、ただ兄として故人の如き將來有望の學究的青年に嫁にいければ妹もさぞ幸福ならん、と漠然と考へをりしところへ、故人が田舎に引込むと聞き、いささか失望して右の書信に及びしものなりと辯明す。

周金榮——二十歳。中野區……Xククリニグ店住込み勤務。傍ら夜間の電氣工學學校に勉學中、所謂苦學生なり。

臺北市……鐵工場員次男。小柄にして十七八歳にみゆ、丸刈の右後頭部に一錢銅貨大の禿あり。故人とは三年前內臺航路船中にて識合ひしと云ふ。その後生活に窮し、數度にわたり故人より借金をす。現在九十圓の負債を遺す。最後の時は本

海軍特別志願兵制度 (入選)

○海で鍛へて君の楯矢を 眞直

海入 (佳作) ○起て征海へ志願兵 (比田井一彦) ○憧れの海征くわれら志願兵 (鹿島二〇吾) ○そは太平洋の若櫻 (藤正雄) ○起て君こそ海の兵だ (吉屋南雄) ○さア行かう、我は海の子海 (山本)

年二月にして、その際故人は、しつかり勉強して早く學校を了へ大いに働き玉へと激勵しつ、これは返さなくともよいと云ひ、金百圓を差し出したるも、本人は固辭して受けず、二十圓を借り受けしのみにて立去りと云ふ。

徐氏彩蓮——二十三歳。X女子美術學校三年。現住所、杉並區……養兄夫婦宅附近アパート。高雄市……南部藥房次女、林春和の妻、九圓のいづれもなく、一風變つた輪廓なるも、先づ相當の美人。最新流行型?の洋装。發達した腰。細い足。國語極めて流暢なれども、やや輕

即ち——それでは、何故故人を頻りに訪問したのか。と問ふに——だつてお友達ですもの。と淋しげな顔付のうちにも、やや驕慢な口振りに答ふ。

「友達にもいろいろあるが、と重ねてやや皮肉に問ふに——あの方は勉強以外何の慾もない、それは眞面目な固い人でした。あんな立派な學生は私みたことござ

海洋思想普及 (入選)

○海はわが庭、船こそわが家 (伊津野千秋)

「佳作」 ○海こそは敵艦滅の突撃路 (龜英二) ○大東亞海國男兒ここにあり (崎任東也) ○海洋へいどむ日の九日の御民 (曾雲瑠) ○船路伸びれば日本も伸びる (重太郎) ○海だ我が家だ戰場だ (吉屋南雄) (昭和十八年七月二日決定)

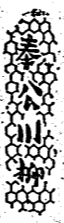
彼の嫌ひあり、訪問前コンパクトを取出し、逆き顔を化粧直しす。アパートの女中より聴取せるに、本人は一時慶々故人のもとを訪れしと云ひ、本人も率直に事實を認め、友人間に専ら戀愛關係の噂あれども、それはデマなりと云ひ否定す。

いけません。なのに、あれだけの頭とあれだけの學究熱を持ちながら、家庭の事情で田舎に引込んで一生朽ちてしまはなければならぬと思ふと、私ちつとしてならぬ気が持たつたのです。で、私は度々お訪ねして、大學に止まつて研究なさるやうおすゝめしたのです。出過ぎたこととは思ひましたけれど……。」

——その際の相手の態度は? ——でんで私の言ふことなど受けつけないのです。あの方は私みたいな者は眼中になかつたのですわ。

「何故君はそんなことを感々しなければならなかつたのか? ——だつて、私達お友達の間からいへ私達の臺灣から、立派な大學教授が出る、それは素晴らしいことなんですもの。なのに、あの人は何故あんなひどいことを……可哀さうな方……」

などと云ひ、つひによよとして泣き崩る。少々つちの過ぎた形なり。具體的戀愛關係を認めるに不充分なるも、本人自身が故人に對しひそかに思慕を抱きたる事は想像せらる。但し他の陳述證言等綜合して、大體死因判明せるにより、その點追及を中止す。



塚越正光選評

君が代に和す南方の國語熟 (評) 新聞紙上に傳へられる南方に基まる國語熟の素暗らしさを見る時、領盛五十年に垂んとして國語熟の設置が論議される我が臺灣を淋しく思ふのは評者ばかりではない。

奉公運動に挺身する靈劇の素暗な舞臺による表演も再検討されてよいものであらう (句主、五結正、靜生)

決戦下、登壇知らぬ子が育ち (評) 現在四十年代、五十年代の内地人は自身の子供の時を振り返つて見る必要がある。本島人大家は事變前の我が生活を思ひ返して見なければいけない。配給だからと言つていらないものではない。用途さへ知らないものを買つてある始末では困つたのである。昔瀬をささないでも立派に子は育つばかりではない。却つて立派に育つのである。 (句主、北港街、星野滿夫)

配給券神棚に先づ供へてる (評) 配給券がなければ、金を積んでも買へないのだから、この位の感謝があつていいのだが、人数を誤魔化して數珠を捻計買ふことを企むのも絶無とは言へない。さういふ人々に罰があたらないければよいが…… (句主、花蓮港市、吉賀良助)

ただ一つ頼るものありこの體 (評) 頑健な體魄こそ我物である。戦力増強に關するも、職能に敵米英を直接やつつけるのもそれであつてこそ、忠良な臣民としての道が實踐出来るのである。この體をより以上頑健に作り上げるのも私達の責務である。 (句主、北港街、劉昌傳)

練練へ根負けの陽が西へ落 (評) 太陽に挑む練練、それは東方にすれば太陽との根柢へと宣言へる。夕方まで暑熱と闘つた人達にとつては、西へ落した陽は征服感も興へようし、職ひ勝ちぬの感も興へよう。さうした中から撃ちて

し止まむの氣魄も練へられて行かう (句主、新竹市、王雨)

この腕で何でもやれる心意氣 (評) 不撓不屈の精神は平時に在つても旺盛でなければならぬが、戦時下の私達は一層強固な不撓不屈な精神の所有者であらねばならない。銃剣がなければ竹槍でも盛が一皇土へ一歩でも踏み込んだ敵があつたややつつけるべく訓練してあるといふ内地のたより、他所へに見てはいけな

い (句主、北港街、御國弘志)

明朝に一家揃つて御奉公 (評) 臺灣中の一つの家庭が、この句の通りだつたら、臺灣一家は實に明朝のものとなるのだが、一家の中に明朝を阻害するものがあるのと同様、臺灣一家の中に現もすれば自己本位で物を考へたり、自我を主張する者がある

ので、明朝性を失ひ勝まない次第である。その意味からお互ひがまづ手近な我家から、明朝に一家揃つて御奉公を實踐

家がわそこ船・庭がわは海

用使ス必ニ供子タレ生

びら知せあ

一第洋東 たり巨陽ミレバタモセア

東京店商田徳總本



しよではないか (句主、宜園市、張壁芳) 貯金帳簿してし止まむ眼で見つめ (正光) 「投稿規定」 奉公運動に關する一切、用紙直致はき一枚 (三句録) 住所氏名種別明記簿切毎月一日、毎月號に發表、宛先臺北市新公園内國民奉公會中央本部、新設編輯室(公川柳と朱世)

家庭の頁

戦争保険とは？

—空襲の損害に備へて—

〔問〕戦争保険とはどんな保険ですか。

〔答〕戦争保険は昨年四月から実施された財産に対する損害保険と、今年四月からの死亡傷害保険との二種類があつて、之により戦争が原因となつて生じた事故の損害を填補して行くのがその目的であります。

〔問〕では先づ財産に対する損害保険から御説明をお願いします。

〔答〕大體普通の火災保険では空襲のために起つた火災には、保険金を支払はないことになつてゐるので之に新たな途を拓いたのが

この保険です。併し財産は何でも保険の対象になるかといふと決してさうでは無い。例へば通貨、有價証券、貴金属、寶石、書畫、骨董、美術品等のやうなものから動植物などはこの保険をつけることは出来ません。

〔問〕保険はどんなところへ申込みが良いのですか。

〔答〕臺灣總督の指定した会社に限りませんが、それは官報に載つて居ります。

〔問〕契約が出来れば直ちに損害の填補を受けることが出来ますか。

〔答〕申込書と保険料が会社に到達して契約が成立

した日の翌日の午後から、期間の末日の午後四時迄に起つた事故による損害に、保険金が支払はれることになつて居ります。従つて空襲警報があつて直ぐで、申込書でも駄目です。

〔問〕契約者の義務といつたやうなものがありませんか。

〔答〕大いにあります。空襲があつた時など唯ボンヤリ眺めてゐたのでは保険金は支払はれません。十分に損害の豫防をし、且つ空襲があつた時は、自分の費用で出来るだけ損害の防止もした上で生じた損害の防止のみ保険金が支払はれるのでこの點は特に忘れてはならないところですよ。

〔問〕保険金支払ひについての制限は？

〔答〕あります。保険の目的物が住宅又は家財であつて、一千圓以下の保険金或は又その損害を復舊する

ことが國家的に見て必要な時は、臺灣總督の認可を経工即時支払はれますが、その他は原則として總督の定める時期迄延期され、又その使途に就ても制限があります。例へば軍需工場に対する保険金は之をその工場の復舊に使へといふのです。又、硝子が三枚切れた程度の三十圓以下の損害に對しては保険金は支払はれません。

〔問〕大體解りました。では次に戦争による死亡傷害保険を御説明願ひます。

〔答〕この保険は前線、銃後の別無く凡ゆる戦闘行為又は之と關聯する事故によつて生じた死亡傷害を保障の対象とするもので、前線將士の戦死は因より敵機の爆撃、味方の防空砲火、空襲による火災、消防避難、或は戦闘行為に伴ふ軍需上の行動、又は行政上の措置等によつて受ける死

約するのは勝手ですが全部の合計金額は五千圓以下でそれ以上は無効になります。

〔問〕契約成立迄の手續きを教へて下さい。

〔答〕先づ所定の申込書に夫々所要の事項を書き入れ、保険料を添へて会社に差出し、之を会社が受取つた時に契約は成立します。但し保険金を支払ひ、又は支拂ひを受けるべき保険期間は、その契約成立の翌日午前零時に始まることになつて居ります。

〔問〕保険料の支払ひには何か特別の定めがありますか。

〔答〕保険事故が起つた時は会社にその旨を通知し支拂ひを請求する時は軍醫、市町村長、領事館等の死亡傷害を証する書類を添附しますが、この書類によつて次の四つの場合に就て夫々保険金が支払はれます。即ち第一に死亡した時

服装新調一寸待て

簡素化運動展開

日本婦人二千萬人が唯一枚の着物の袂を切つて之を平均一圓

と見れば、一億四千萬圓の飛行機

のみに新しい布を買つてこしらへ

(生活部)



巻の練訓空防 (2)んさ姿國愛 連遊戯 (註明朝洪)

兩眼の視力を全く失つた時二肢を失ひ又はその機能を廢した時、精神的又は身體的作業能力を失ひ一生自用を辨することが出来なくなつた時等は全額支払ひ、第一に咀嚼及び言語の機能を併せて廢した時、兩眼の視力を殆んど失つた時、生殖の機能を廢した時、精神的又は身體的作業能力を著しく終身業務に服し得ざるに至つて居ります。

つた時などは、保険金の七割五分を支拂ひ、第三に二肢を失ひ又はその機能を廢した時、一眼の視力を失つた時、兩耳全く聾した時、咀嚼又は言語の機能を廢した時などは半額を支拂ひ、第四にその他身體に著しい障害を存し、又は女子にしてその外観に醜痕を残した時などは二割五分を支拂ひとなつて居ります。

實に幾大なものとなるでせう。本島人の方ばかり死蔵品なく更生生活する衣類はないと聞きますが、上層に於ては内地人同様、甚しきは一生着る衣類を持つて行くと言ふ事でも、長衫、袴の如きものは工夫厚生便用するやうにし、衣料資源を出来る支拂節約したいものです。眞に國策に關つた持ち合せで間に合せ、已むを得ず新調の時、男子は國民服、女子は婦人標準服及標準型活動衣とすべきですが、しかし實際があるのにわざと國民服を作つたり活動衣(モンペ)は袴を更生工夫し、或は古い布で作つたらよいのに新しい布を買つてこしらへ

る、洋服があるのに標準服を新調するなどは、はき違へた時局認識で天に褻蕪すべき事だと存じます。

男子の夏季の上着なし運動が起つてゐますが、國民服公會では、法令に特別の定めがある場合の外は、

一、上衣ネクタイを用ひなくともよろしい。

一、開襟シャツ、カッターシャツ、ワイシャツ及び之に準ずるものは半袖にしてもよろしい。

一、下衣は半袴とするも長袴下を用ひなくともよろしい。

と決定しましたが、能率も五割は上ると云ふ事です。

文化部

△七月一日〜七月十八日 海軍思想普及啓蒙期間の啓蒙資料として「海の文庫と美術移動展」を左の日程に依り、二組に分けて巡回展示した。第一組、新竹市 七月一日〜七日、臺中市 七月八日〜十四日、臺南市 七月十五日〜二十一日、馬公街 七月二十二日〜二十八日、第二組、高雄市 七月一日〜七日、嘉義街 七月八日〜十四日、花蓮港市 七月十五日〜二十五日。

奉公會人事

〔自六月十五日取扱分〕
〔奉慶之部〕

本年五月決定せる健民指導大綱に基き、健民指導部の任命を各州廳支部に依頼せる處、順調に進行し、近く健民指導員連絡會議を開催することになつてゐる、尙健民委員の任命は七月末日迄となつてゐる。

生活部

一八六二二 顧問 高雄發備
府司會長官 山縣 正輝
健民指導部 文化 藤野 喜好
同 二八 參事 齋藤 謙
生活部 柴山 峰登
同 三〇 參事 齋藤 謙
東京駐在 川口 朝好
同 三三 主事 齋藤 謙
京駐在 武田 義雄
同 三六 書記 齋藤 謙
同 三九 六本木案一
同 四二 西田 昭明
同 四五 藤田 昭助
同 四八 藤田 昭助
同 五一 藤田 昭助
同 五四 藤田 昭助
同 五七 藤田 昭助
同 六〇 藤田 昭助
同 六三 藤田 昭助
同 六六 藤田 昭助
同 六九 藤田 昭助
同 七二 藤田 昭助
同 七五 藤田 昭助

編輯室だより

おかげで「新建」も健かに育ちつゝあり、この分だと大東亞戦争に伍して、新しい建設へのほんの些かな一翼となり得るものと思つてゐる。△「新建」が新しいものだけに、あゝせよ、斯うしたらつと良くなる、親切にいろゝ示教される方々も多く、誠に感謝に堪へない。同人等粉骨碎身、大方の期待に背かない様に懸命に努力する覚悟である。△「今月の話題」として六月號で扱つた「左書と右書」の一文に就ては問題が右も左も辨へぬ迄に就いて

ある際として、投書や忠告など寄せられた方も多かつた。△その中で「左大巨は右大巨より上ではなからぬ」といふ意見は一種尤もであつた。然しそれは、天羅標が黒后標とお並びの時には右にお並びになる一方、右を尊重するところ、左考へ方は十分である。左右大巨の制は支那の制を其儘取入れたものと解される。更に「さき」の意味には「二つのものを比較し優れたものをさきとする」とあるまでに我が國では右を尊重して來てゐる。△まだ色意見を書せられたが此の一例で十分と思ふ。尙この右書き左書きの問題は關係する所も多く

深いので、其の中に時が自然に解決するものと思ふ。△大東亞戦争が本島青年に與へた影響は甚だ大きい。従來ともすると本島青年には打てはやく力、所謂感傷性が缺如してゐるとよく云はれて來たが、今本島青年はかうした過去の姿を一掃し、青年らしい明るさ、あるひは強さをとりもどし、その燃え上がる若さ、いさよ、熱情は全く露骨に表れ、△去る七月十一日の中央參與奉公會委員に於て山本事務局長もまた特に本島青年の動きに言及し、青年こそは臺灣一家獨立の尖兵として、臺灣を擔つて立つべきものであると強

同 七、五 陽託 (總務)
同 八、二 陽託 (總務)
同 九、九 陽託 (總務)
同 一〇、六 陽託 (總務)
同 一三、三 陽託 (總務)
同 一六、〇 陽託 (總務)
同 一八、六 陽託 (總務)
同 二一、三 陽託 (總務)
同 二四、〇 陽託 (總務)
同 二六、六 陽託 (總務)
同 二九、三 陽託 (總務)
同 三二、〇 陽託 (總務)
同 三四、六 陽託 (總務)
同 三七、三 陽託 (總務)
同 四〇、〇 陽託 (總務)
同 四二、六 陽託 (總務)
同 四五、三 陽託 (總務)
同 四八、〇 陽託 (總務)
同 五〇、六 陽託 (總務)
同 五三、三 陽託 (總務)
同 五六、〇 陽託 (總務)
同 五八、六 陽託 (總務)
同 六一、三 陽託 (總務)
同 六四、〇 陽託 (總務)
同 六六、六 陽託 (總務)
同 六九、三 陽託 (總務)
同 七二、〇 陽託 (總務)
同 七四、六 陽託 (總務)
同 七七、三 陽託 (總務)
同 八〇、〇 陽託 (總務)
同 八二、六 陽託 (總務)
同 八五、三 陽託 (總務)
同 八八、〇 陽託 (總務)
同 九〇、六 陽託 (總務)
同 九三、三 陽託 (總務)
同 九六、〇 陽託 (總務)
同 九八、六 陽託 (總務)
同 一〇一、三 陽託 (總務)
同 一〇四、〇 陽託 (總務)
同 一〇六、六 陽託 (總務)
同 一〇九、三 陽託 (總務)
同 一一二、〇 陽託 (總務)
同 一一四、六 陽託 (總務)
同 一一七、三 陽託 (總務)
同 一二〇、〇 陽託 (總務)
同 一二二、六 陽託 (總務)
同 一二五、三 陽託 (總務)
同 一二八、〇 陽託 (總務)
同 一三〇、六 陽託 (總務)
同 一三三、三 陽託 (總務)
同 一三六、〇 陽託 (總務)
同 一三八、六 陽託 (總務)
同 一四一、三 陽託 (總務)
同 一四四、〇 陽託 (總務)
同 一四六、六 陽託 (總務)
同 一四九、三 陽託 (總務)
同 一五二、〇 陽託 (總務)
同 一五四、六 陽託 (總務)
同 一五七、三 陽託 (總務)
同 一六〇、〇 陽託 (總務)
同 一六二、六 陽託 (總務)
同 一六五、三 陽託 (總務)
同 一六八、〇 陽託 (總務)
同 一七〇、六 陽託 (總務)
同 一七三、三 陽託 (總務)
同 一七六、〇 陽託 (總務)
同 一七八、六 陽託 (總務)
同 一八一、三 陽託 (總務)
同 一八四、〇 陽託 (總務)
同 一八六、六 陽託 (總務)
同 一八九、三 陽託 (總務)
同 一九二、〇 陽託 (總務)
同 一九四、六 陽託 (總務)
同 一九七、三 陽託 (總務)
同 二〇〇、〇 陽託 (總務)
同 二〇二、六 陽託 (總務)
同 二〇五、三 陽託 (總務)
同 二〇八、〇 陽託 (總務)
同 二一〇、六 陽託 (總務)
同 二一三、三 陽託 (總務)
同 二一六、〇 陽託 (總務)
同 二一八、六 陽託 (總務)
同 二二一、三 陽託 (總務)
同 二二四、〇 陽託 (總務)
同 二二六、六 陽託 (總務)
同 二二九、三 陽託 (總務)
同 二三二、〇 陽託 (總務)
同 二三四、六 陽託 (總務)
同 二三七、三 陽託 (總務)
同 二四〇、〇 陽託 (總務)
同 二四二、六 陽託 (總務)
同 二四五、三 陽託 (總務)
同 二四八、〇 陽託 (總務)
同 二五〇、六 陽託 (總務)
同 二五三、三 陽託 (總務)
同 二五六、〇 陽託 (總務)
同 二五八、六 陽託 (總務)
同 二六一、三 陽託 (總務)
同 二六四、〇 陽託 (總務)
同 二六六、六 陽託 (總務)
同 二六九、三 陽託 (總務)
同 二七二、〇 陽託 (總務)
同 二七四、六 陽託 (總務)
同 二七七、三 陽託 (總務)
同 二八〇、〇 陽託 (總務)
同 二八二、六 陽託 (總務)
同 二八五、三 陽託 (總務)
同 二八八、〇 陽託 (總務)
同 二九〇、六 陽託 (總務)
同 二九三、三 陽託 (總務)
同 二九六、〇 陽託 (總務)
同 二九八、六 陽託 (總務)
同 三〇一、三 陽託 (總務)
同 三〇四、〇 陽託 (總務)
同 三〇六、六 陽託 (總務)
同 三〇九、三 陽託 (總務)
同 三一二、〇 陽託 (總務)
同 三一四、六 陽託 (總務)
同 三一七、三 陽託 (總務)
同 三二〇、〇 陽託 (總務)
同 三二二、六 陽託 (總務)
同 三二五、三 陽託 (總務)
同 三二八、〇 陽託 (總務)
同 三三〇、六 陽託 (總務)
同 三三三、三 陽託 (總務)
同 三三六、〇 陽託 (總務)
同 三三八、六 陽託 (總務)
同 三四一、三 陽託 (總務)
同 三四四、〇 陽託 (總務)
同 三四六、六 陽託 (總務)
同 三四九、三 陽託 (總務)
同 三五二、〇 陽託 (總務)
同 三五四、六 陽託 (總務)
同 三五七、三 陽託 (總務)
同 三六〇、〇 陽託 (總務)
同 三六二、六 陽託 (總務)
同 三六五、三 陽託 (總務)
同 三六八、〇 陽託 (總務)
同 三七〇、六 陽託 (總務)
同 三七三、三 陽託 (總務)
同 三七六、〇 陽託 (總務)
同 三七八、六 陽託 (總務)
同 三八一、三 陽託 (總務)
同 三八四、〇 陽託 (總務)
同 三八六、六 陽託 (總務)
同 三八九、三 陽託 (總務)
同 三九二、〇 陽託 (總務)
同 三九四、六 陽託 (總務)
同 三九七、三 陽託 (總務)
同 四〇〇、〇 陽託 (總務)

同 二六 教務陽託 (海洋訓練隊)
同 二八 參事 細 克夫
同 部 臨時事務員 本人

○地方支部 篠原 敏
皇民奉公會各州廳支部に於ける
參與、奉公會委員の改任期に當り
六月十六日附を以て之が委、解
屬發せられたり。
○臨時事務員本部
一八、六二八 幹事 柴山 峰登
一八、六三〇 參與 鈴木 利茂
○商業奉公會中央本部
一八、六三〇 參與 鈴木 利茂
一八、六三〇 書記 久保 則吉

○新建設 週刊第十二號
定價 十五錢 (法)
半年 九十錢 (法)
一年 一圓八十錢 (法)
昭和十八年七月二十日發行
昭和十八年八月一日發行
昭和十八年八月一日發行
昭和十八年八月一日發行

皇民奉公會中央本部
台北市文獻館二二三
電話九七一一番
大坂市東區高橋三丁目十一
番電話二八四三番
南仲社

毛髮の健康美を創る整髪料

素養米の髪毛油香本目

大坂・石津

結核の療治

參事資料

大坂市東區高橋三丁目十一番

三和銀行

雄高・南台・北台

本店 大坂市
支店 全日本三十三處
支店 大坂市

REEL No. A-0510

昭和十八年八月十五日

胸氣の治療と預防に
 毎日服用するニサン用の薬品

三共株式會社 東京・日本橋・區町
 台湾三共株式會社 台北市 表町

純良
 藥品

向暑時の
 作力増強

抵抗力の衰へがちな今こそ
 呼吸器結核の悪化に毎日飲
 かさず、ヘルペで果敢を...

第一
 THERAPOL TABLETS

化膿症

急性・慢性
 淋性・慢性
 丹毒・面腫・化耳・中隔・威
 膿下・桃
 創腺・耳腺
 疾 毒疽疔瘍傷炎炎炎冒

内服により吸収され
 て深く病部に透達
 し、膿での化膿菌・淋菌
 流行性感菌・淋菌
 に對する生體內殺菌
 力を發揮し、速に病
 源を消滅せしむるも短
 期に快癒せしむるも短
 期に快癒せしむるも短
 期に快癒せしむるも短
 ナフミド剤

100錠装
 200錠装
 300錠装

第一製藥株式會社
 東京・大阪・台北

ルーポラテ

A-75

（第二卷第八號）
 毎月一回一日發行
 第一十五錢